

2009年3月期 第2四半期決算説明会



八千代工業株式会社

証券コード 7298
ホームページ <http://www.yachiyo-ind.co.jp/>
問い合わせ先 経理部 川瀬 和昭
e-mail: kazuaki_kawase@yachiyo-ind.co.jp
TEL 04-2955-1280

2008.11.5

本日のご説明内容

1. 第2四半期決算説明

経理部長 北村 哲也

2. 第10次中期計画及び 四日市製作所新工場建設 の進捗状況について

代表取締役社長 白石 基厚

3. 質疑

1. 第2四半期決算説明

2009年3月期 第2四半期連結決算及び
連結業績見通し

2009年3月期連結業績見通し 概要

経理部長 北村 哲也

2009年3月期 第2四半期連結決算 及び連結業績見通し

概 要

第2四半期 & 上期 連結業績

第2四半期(3ヶ月間) 08/07~08/09(国内) 08/04~08/06(海外)	2007年2Q (実績)	2008年2Q (実績)	前年同期比 (増減率)
売上高	795億円	781億円	-14億円 (-1.8%)
完成車事業	295億円	305億円	10億円 (+3.5%)
部品事業	500億円	476億円	-24億円 (-5.0%)
営業利益 (対売上高比率)	25.2億円 (3.2%)	16.3億円 (2.1%)	-8.9億円 (-35.6%)
経常利益 (対売上高比率)	23.7億円 (3.0%)	15.0億円 (1.9%)	-8.7億円 (-36.6%)
四半期純利益 (対売上高比率)	11.0億円 (1.4%)	8.3億円 (1.1%)	-2.7億円 (-24.5%)

上期(6ヶ月間) 08/04~08/09(国内) 08/01~08/06(海外)	2007年9月期 (実績)	2008年9月期 (実績)	前年同期比 (増減率)
売上高	1,644億円	1,522億円	-122億円 (-7.5%)
完成車事業	662億円	568億円	-94億円 (-14.3%)
部品事業	982億円	954億円	-28億円 (-2.9%)
営業利益 (対売上高比率)	51.0億円 (3.1%)	35.0億円 (2.3%)	-16.0億円 (-31.4%)
経常利益 (対売上高比率)	49.1億円 (3.0%)	31.7億円 (2.1%)	-17.4億円 (-35.5%)
四半期純利益 (対売上高比率)	24.1億円 (1.5%)	19.7億円 (1.3%)	-4.4億円 (-18.5%)

4/25公表 期初 見直しからの増減額
+52億円
+43億円
+9億円
-1.0億円 (-2.8%)
-1.3億円 (-3.9%)
+2.7億円 (15.9%)

2009年3月期 連結業績見通し



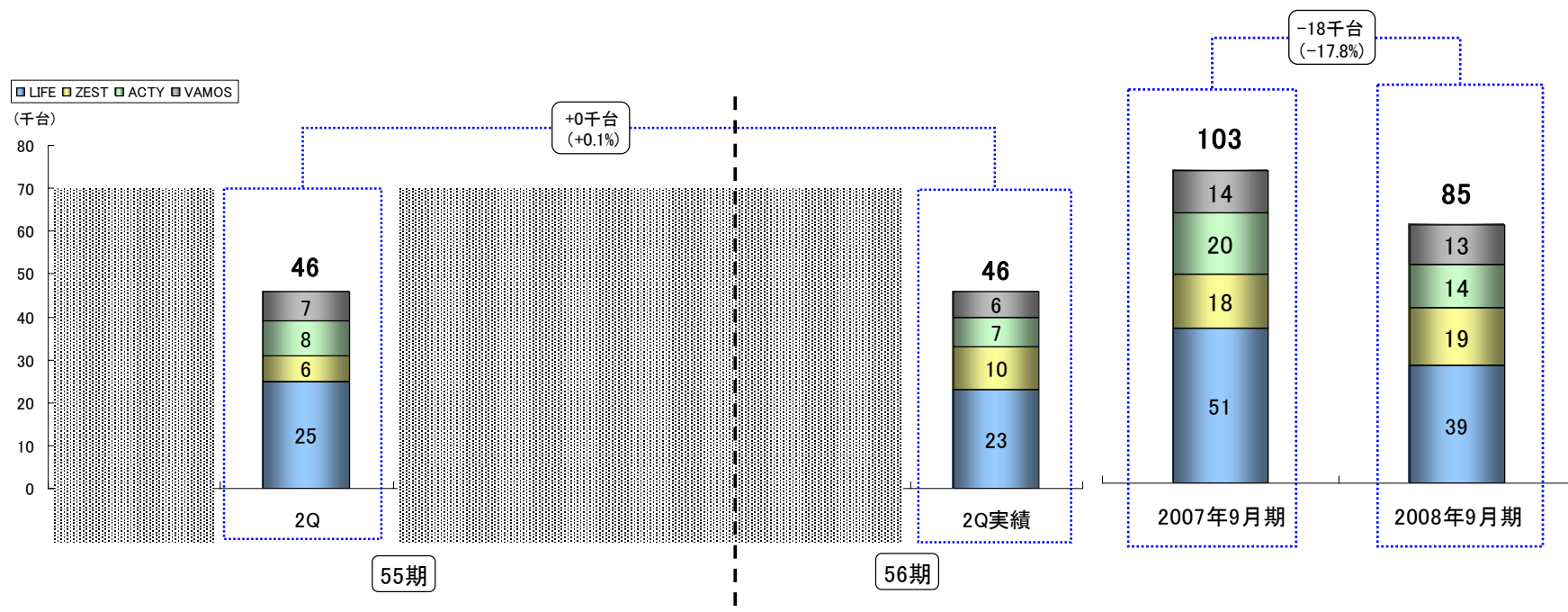
	2008年3月期 (実績)	2009年3月期 (見通し)	前年度比 (増減率)	4/25公表 期初 見通しからの増減額
売上高	3,198億円	3,300億円	102億円 (+3.2%)	+50億円
完成車事業	1,229億円	1,400億円	171億円 (+13.9%)	+68億円
部品事業	1,969億円	1,900億円	-69億円 (-3.5%)	-18億円
営業利益 (対売上高比率)	88.0億円 (2.8%)	91.0億円 (2.8%)	3.0億円 (+3.4%)	-1.0億円
経常利益 (対売上高比率)	81.2億円 (2.5%)	83.7億円 (2.5%)	2.5億円 (+3.0%)	-1.3億円
当期純利益 (対売上高比率)	73.6億円 (2.3%)	48.0億円 (1.5%)	-25.6億円 (-34.8%)	+4.0億円
為替レート (USドル)	上期 119円 通期 下期 109円 114円	上期 106円 通期 下期 100円 103円	11円 円高	上期 +6円 通期 下期 0円 +3円

2009年3月期 第2四半期連結決算 及び連結業績見通し

詳 細

第2四半期(6ヶ月間) 完成車事業概況(連結ベース)

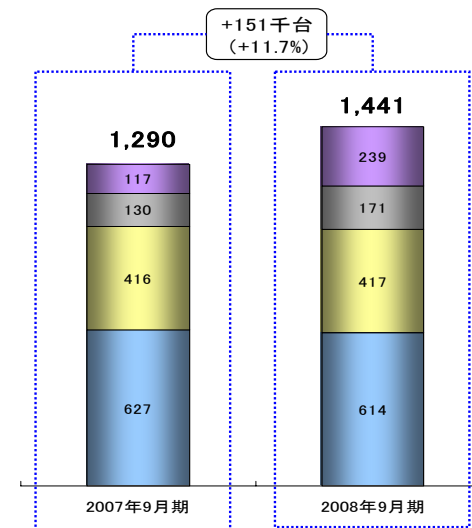
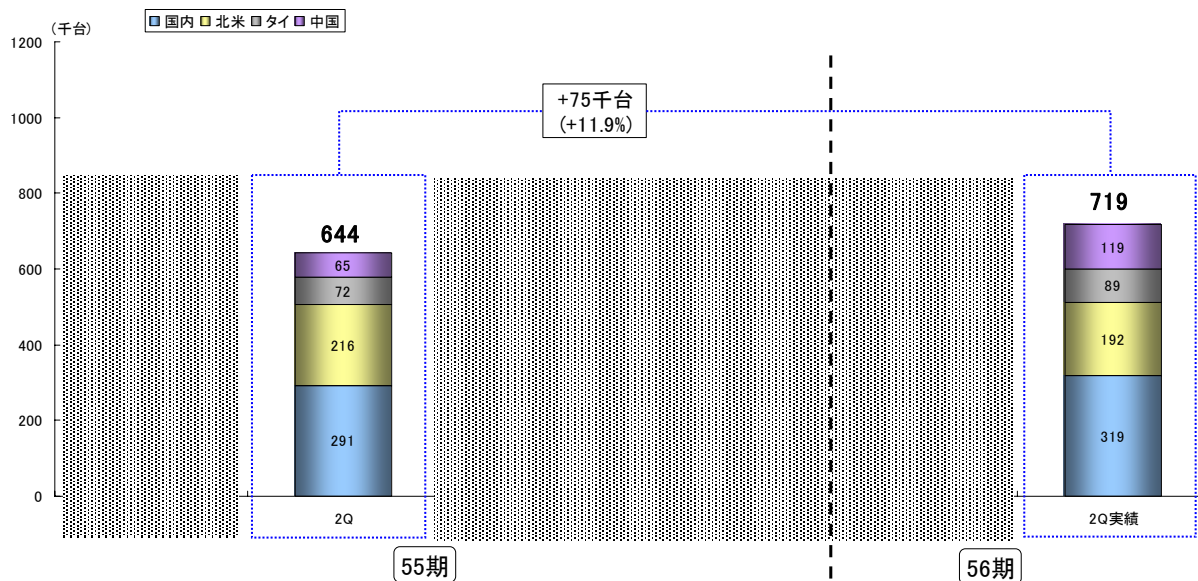
	2007年9月期 (実績)	2008年9月期 (実績)	前年同期比 (増減率)
生産台数合計	103千台	85千台	- 18千台 (-17.8%)
LIFE	51千台	39千台	- 12千台 (-25.3%)
ZEST	18千台	19千台	+1千台 (+6.2%)
ACTY	20千台	14千台	- 6千台 (-27.2%)
VAMOS	14千台	13千台	- 1千台 (-6.5%)
売上高	662億円	568億円	-94億円 (-14.3%)



第2四半期(6ヶ月間) 部品事業概況(タンク/連結ベース)

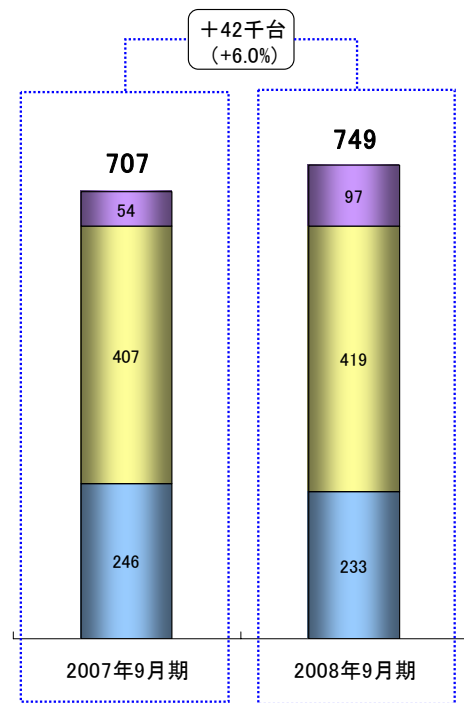
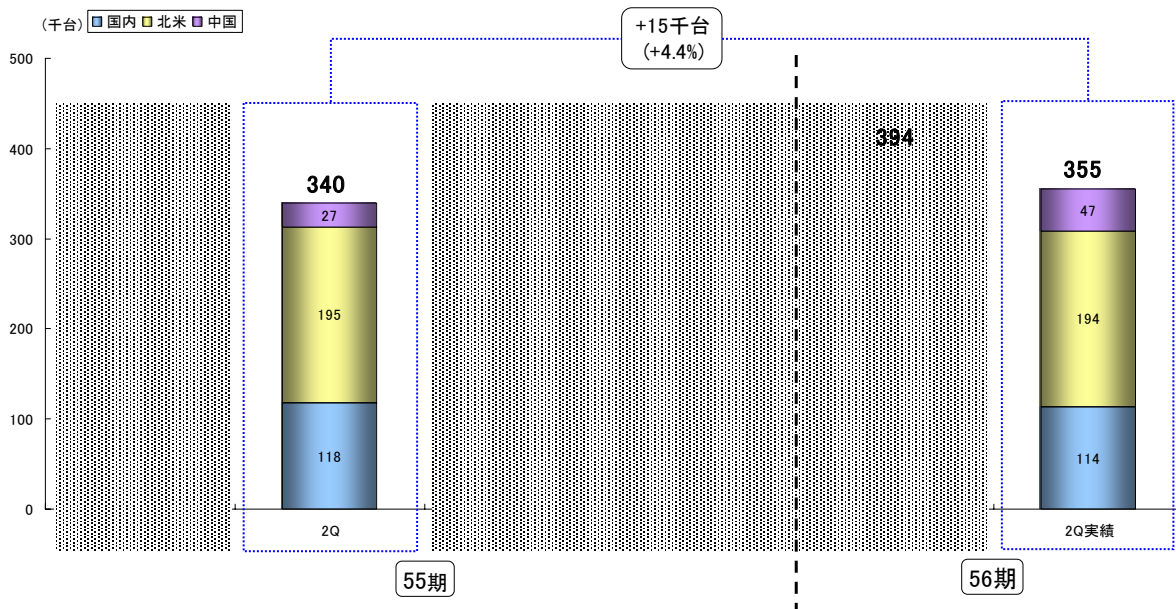


	2007年9月期 (実績)	2008年9月期 (実績)	前年同期比 (増減率)
生産台数合計	1,290千台	1,441千台	+151千台 (+11.7%)
国内	627千台	614千台	-13千台 (-2.2%)
北米	416千台	417千台	+1千台 (+0.4%)
タイ	130千台	171千台	+41千台 (+32.5%)
中国	117千台	239千台	+122千台 (+104.0%)
売上高	201億円	202億円	+1億円 (+0.3%)
内為替影響	—	- 13億円	実質的な売上増は +14億円



第2四半期(6ヶ月間) 部品事業概況(サンプルフ/連結ベース) YACHIYO

	2007年9月期 (実績)	2008年9月期 (実績)	前年同期比 (増減率)
生産台数合計	707千台	749千台	+42千台 (+6.0%)
国内	246千台	233千台	-13千台 (-5.5%)
北米	407千台	419千台	+12千台 (+3.2%)
中国	54千台	97千台	+43千台 (+81.7%)
売上高	156億円	152億円	-4億円 (-2.6%)
内為替影響	—	-13億円	実質的な売上増は +9億円

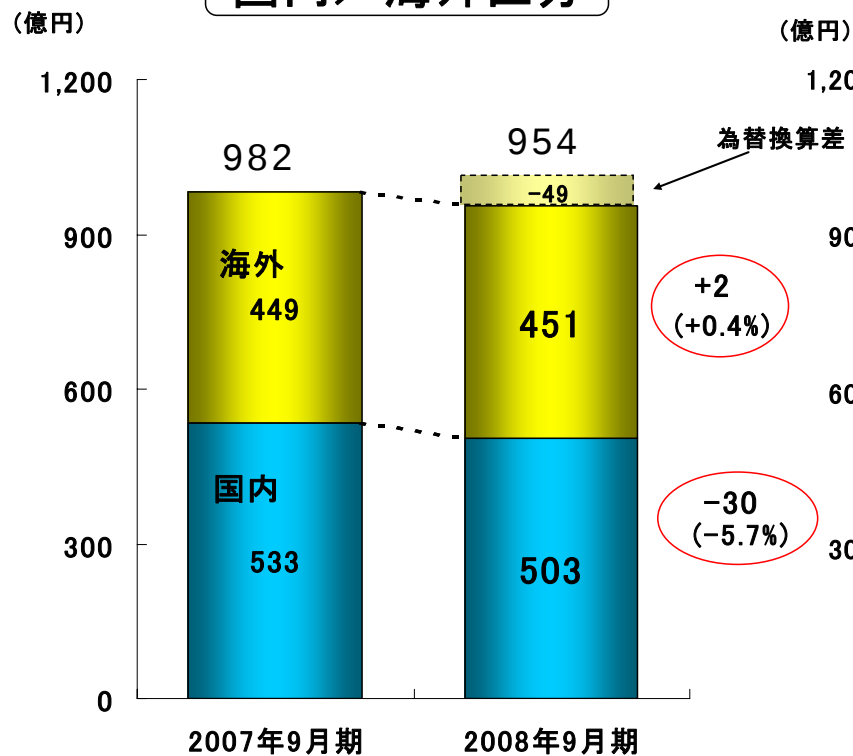


第2四半期(6ヶ月間) 部品事業概況(連結ベース)

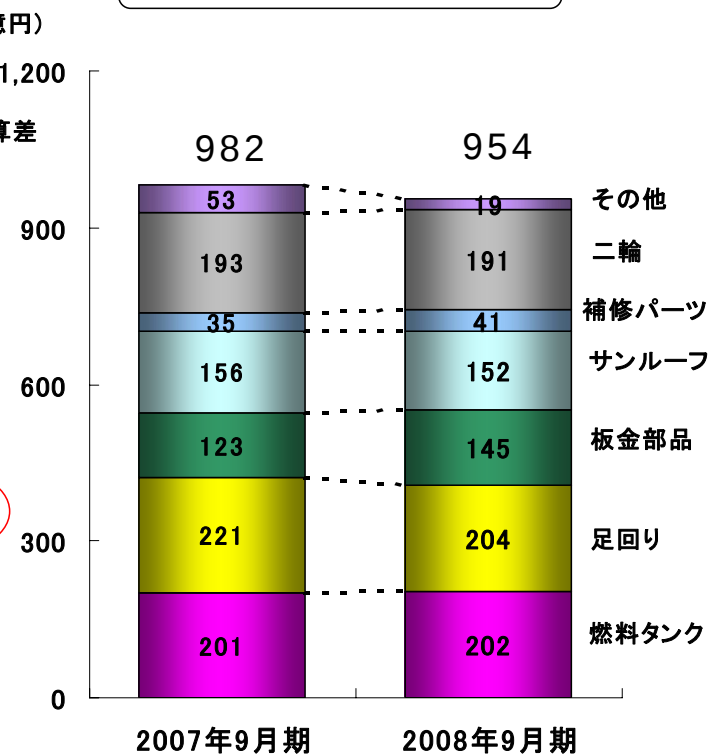


売上高	2007年9月期 (実績)	2008年9月期 (実績)	前年同期比 (増減率)
売上高	982億円	954億円	-28億円 (-2.9%)

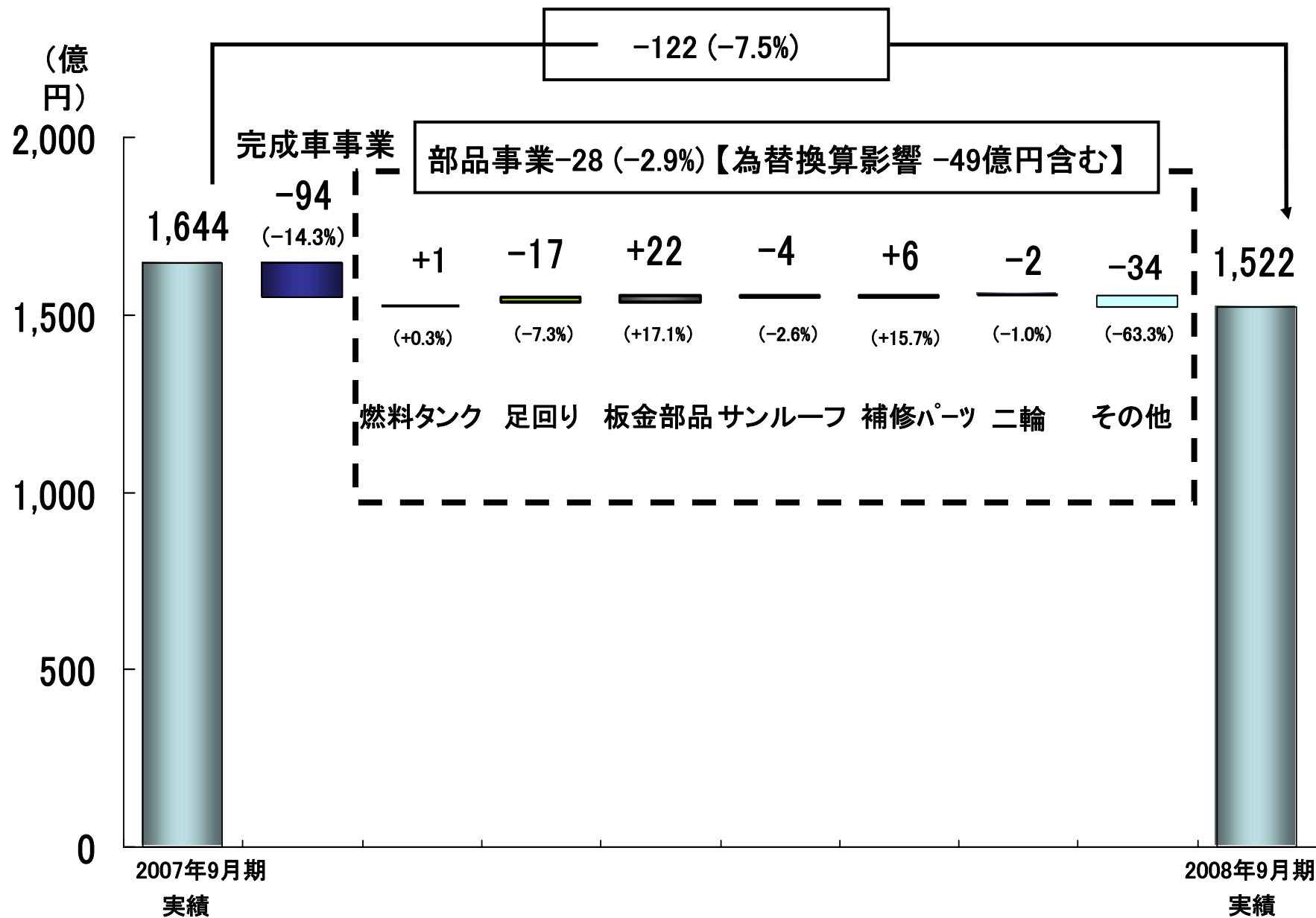
国内／海外区分



部品別区分

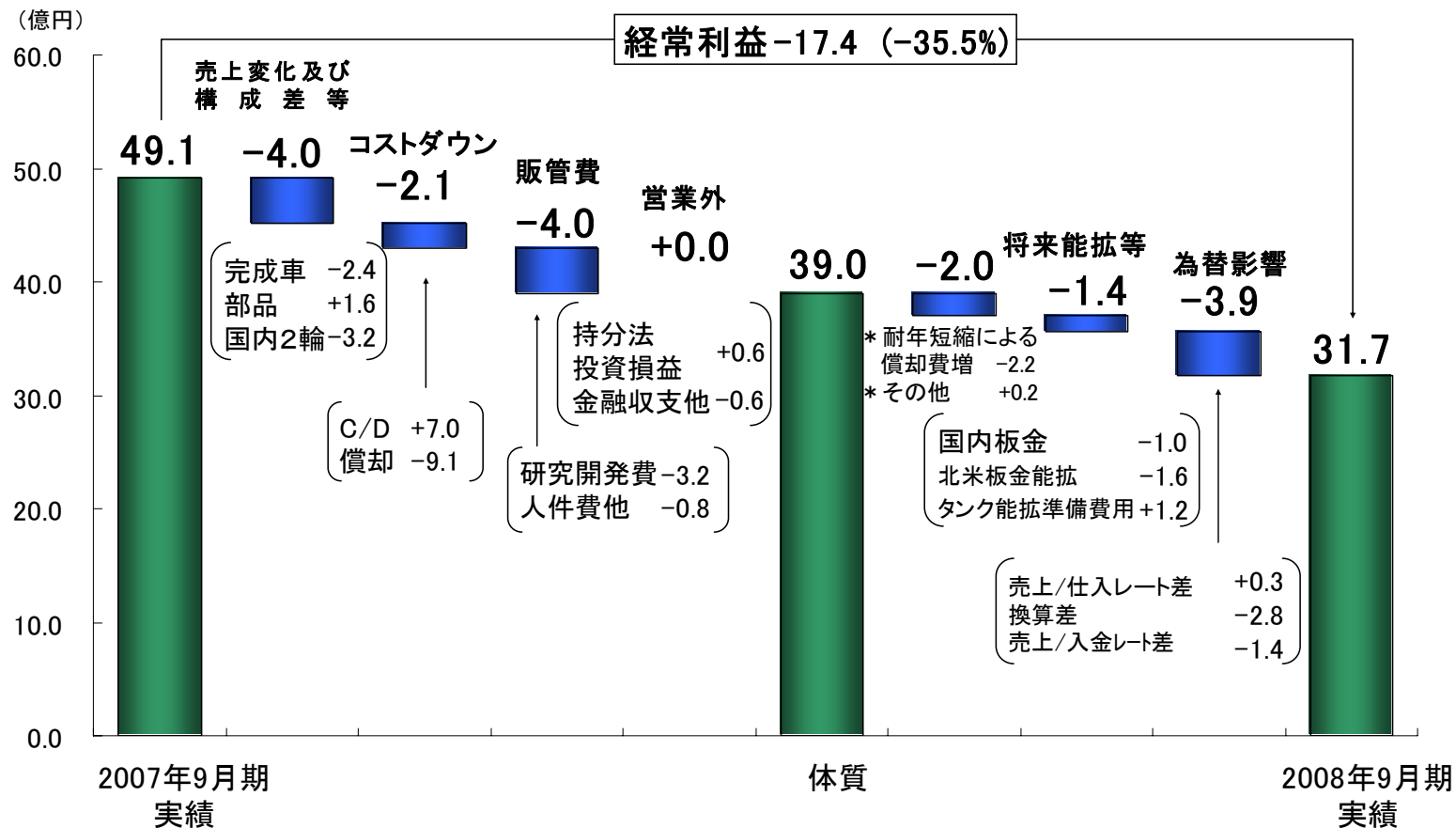


第2四半期(6ヶ月間) 連結売上高【製品別】増減要因



第2四半期(6ヶ月間) 連結経常利益増減要因(前年同期比)

売上高	1,644	増減 -73	体質 1,571	為替換算影響 -49	1,522	-122
完成車事業	662	-94	568		568	
部品事業	982	+21	1,003		954	



所在地別セグメント情報(6ヶ月間)

【日本】

売上高・・・140

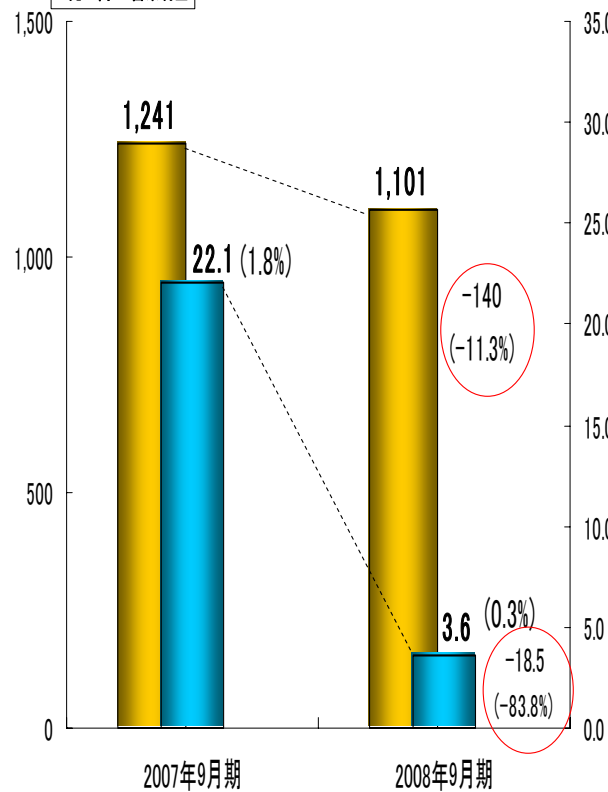
- ・完成車 18千台減 -94
- ・部品売上減 -46

営業利益・・・18.5

- ・売上変化及び機種構成差 -7.1
- ・国内2輪受注減 -3.2
- ・耐年短縮による償却費等 -2.0
- ・償却費増 研究開発強化 -6.2

(単位:億円)

■売上高 ■営業利益



【北米】

売上高・・・28

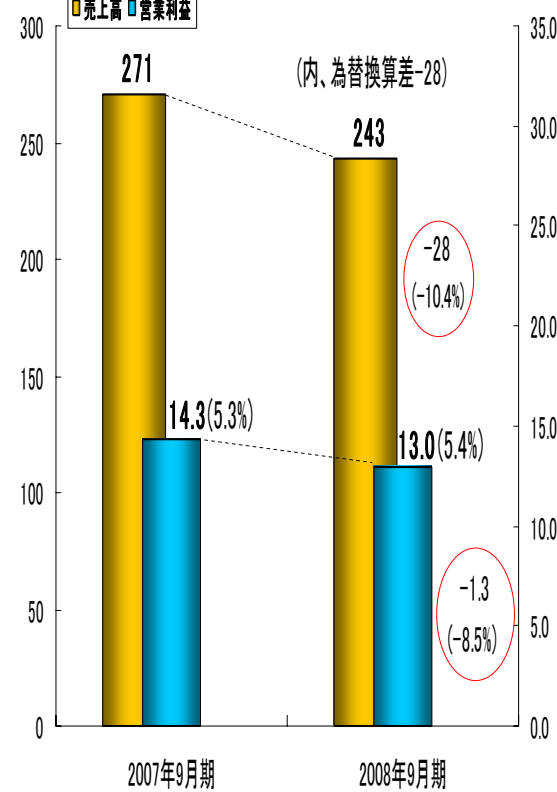
- ・為替換算影響 -28

営業利益・・・1.3

- ・売上変化及び機種構成差 0.5
- ・売上レート差、換算差 +0.8
- ・将来能払等 -1.6

(単位:億円)

■売上高 ■営業利益



【アジア】

売上高・・・30

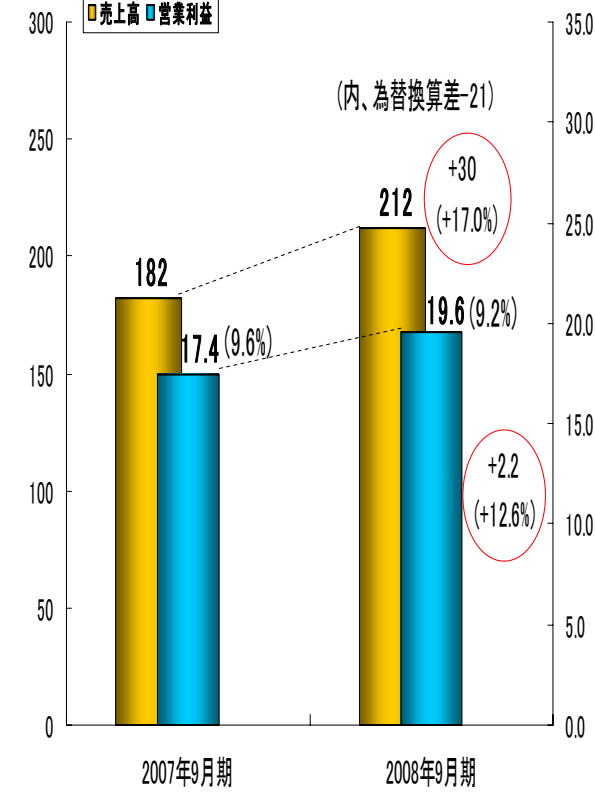
- ・為替換算影響 -21
- ・タンク及びSR増 +51

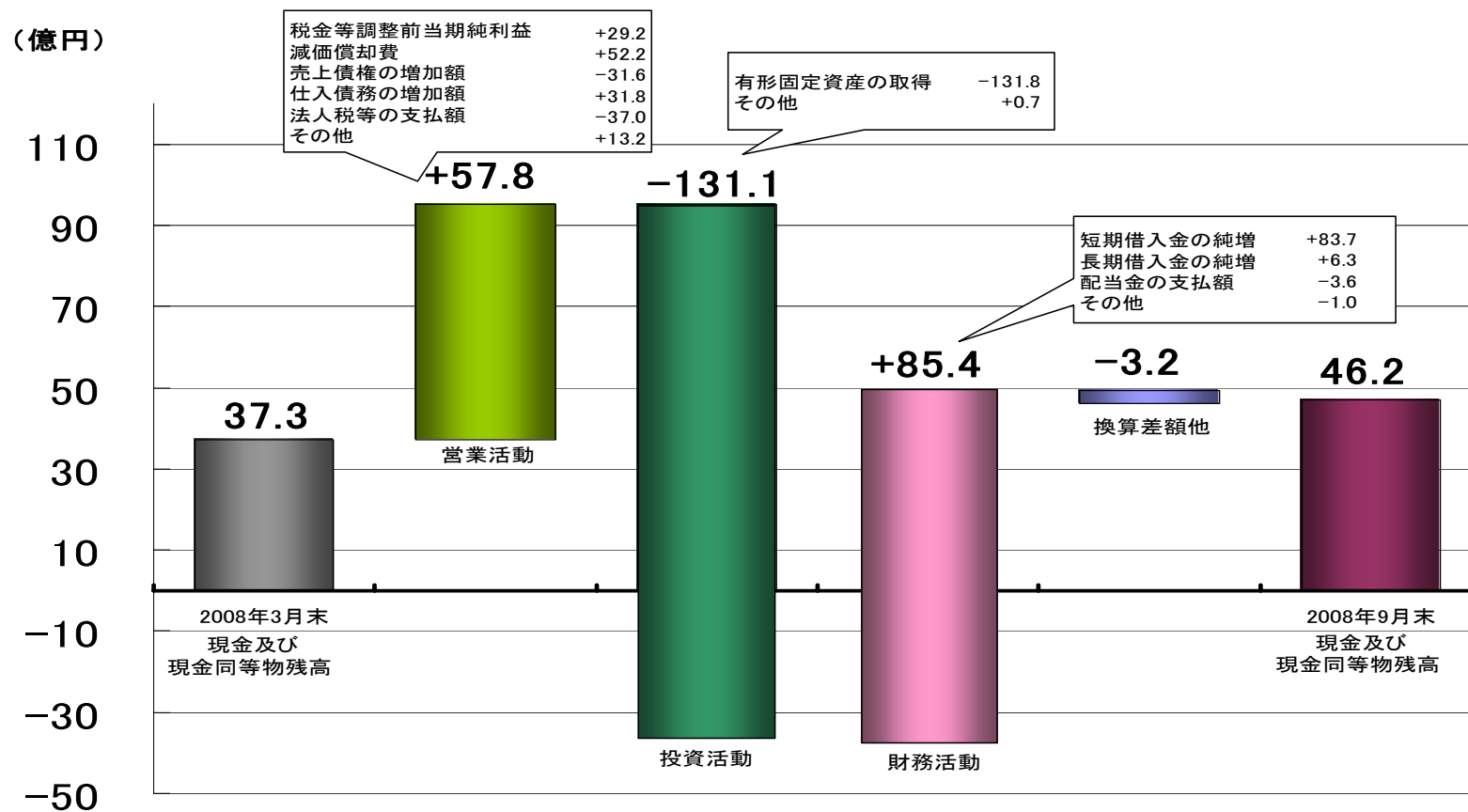
営業利益・・・2.2

- ・売上変化及び機種構成差 6.4
- ・売上レート差、換算差 -4.5
- ・将来能払等 +0.3

(単位:億円)

■売上高 ■営業利益





連結貸借対照表

	2008年3月	2008年9月	増減	コメント
総資産	1,268億円	1,335億円	+67億円	現金及び預金の増 +8億円 受取手形及び売掛金の増 +29億円 たな卸資産の減 -13億円 有形固定資産の増 +41億円 その他 +2億円
負債	764億円	843億円	+79億円	支払手形及び買掛金の増 +17億円 借入金の増 +89億円 未払法人税等の減 -30億円 設備支払手形の増 +7億円 その他 -4億円
純資産	504億円	492億円	-12億円	少数株主持分の減 -1億円 為替換算調整勘定の減 -27億円 四半期純利益 +20億円 配当金 -4億円
有利子負債残高	242億円	333億円	+91億円	国内 +70億円 北米 +23億円 アジア -2億円
自己資本比率	36.3%	33.6%	-2.7P	_____
有利子負債依存度	19.1%	25.0%	+5.9P	_____
1株当り純資産	1,917円	1,870円	-47円	_____

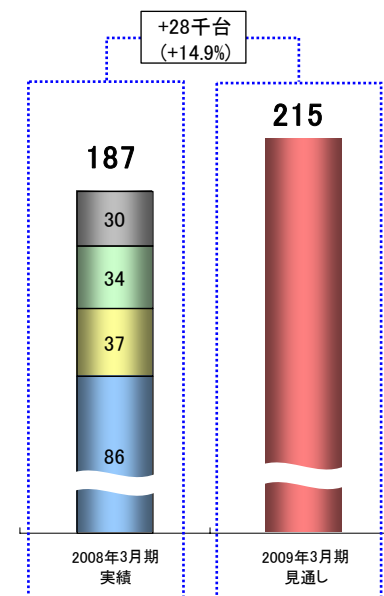
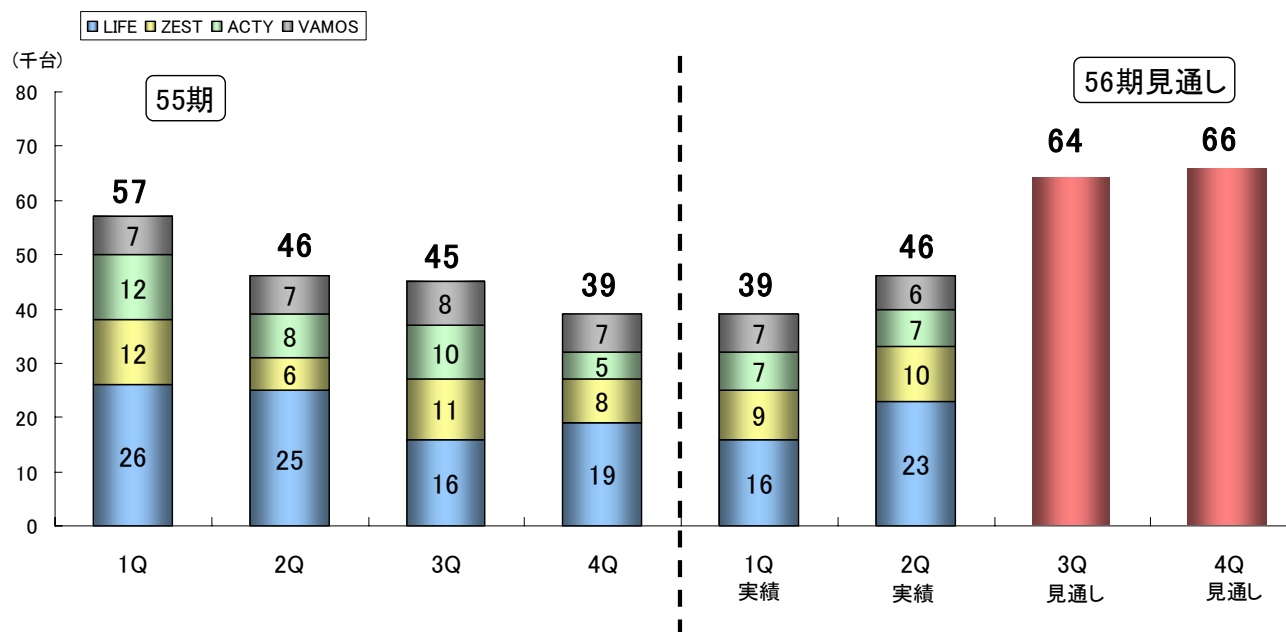
2009年3月期

連結業績見通し

完成車事業 売上台数&売上高 見通し

	2008年3月期 (実績)	2009年3月期 (見通し)	前年度比 (増減率)
生産台数合計	187千台	215千台	+28千台 (+14.9%)

売上高	1,229億円	1,400億円	+171億円 (+13.9%)
-----	---------	---------	--------------------

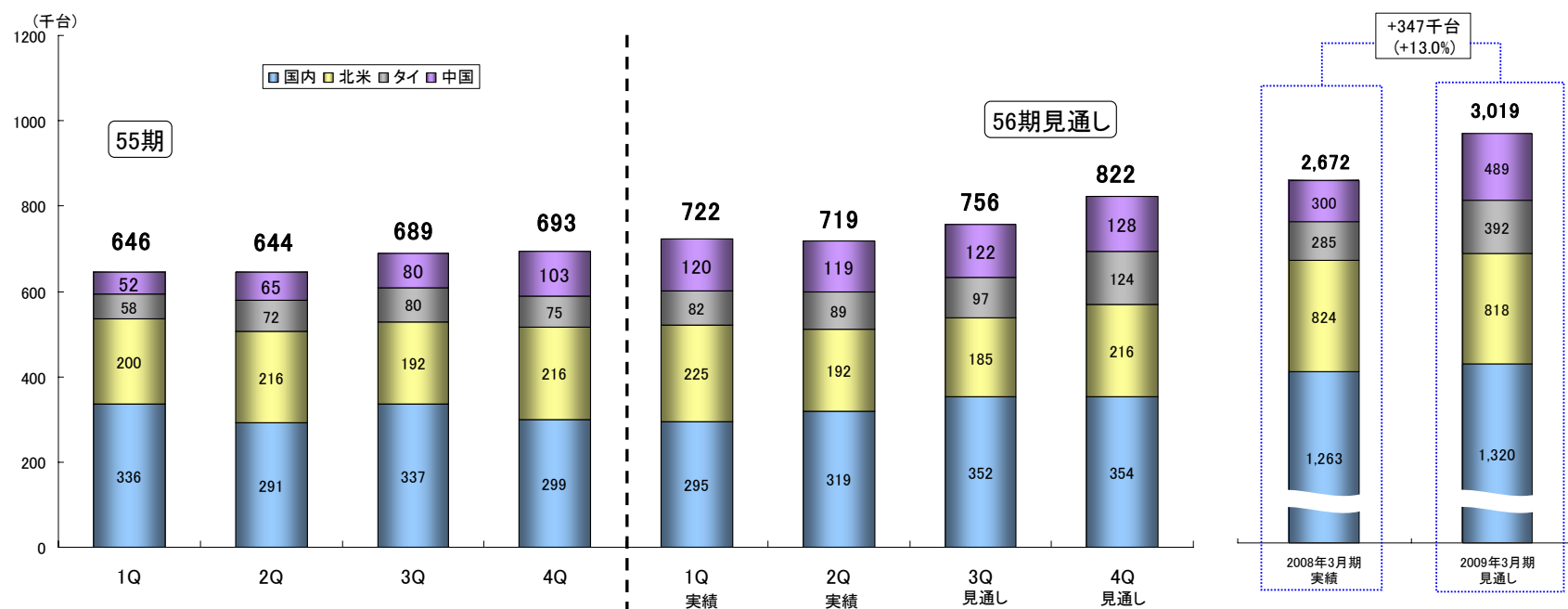


日産台数	950台	810台	750台	624台	657台	771台	914台	1000台
休買日	0日	0日	0日	0日	0日	0日	6日	6日

780台	844台
0日	12日

部品事業(タンク)売上台数&売上高 見通し

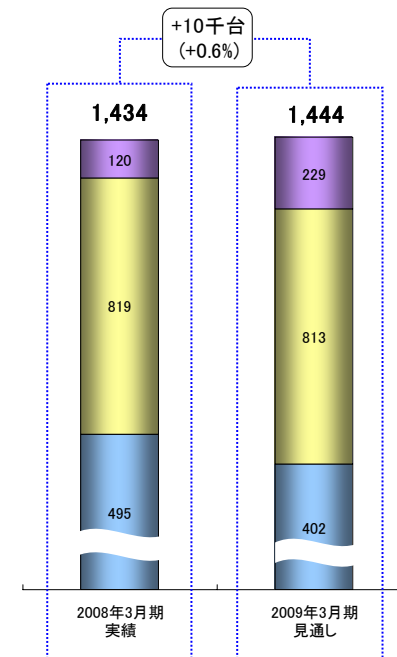
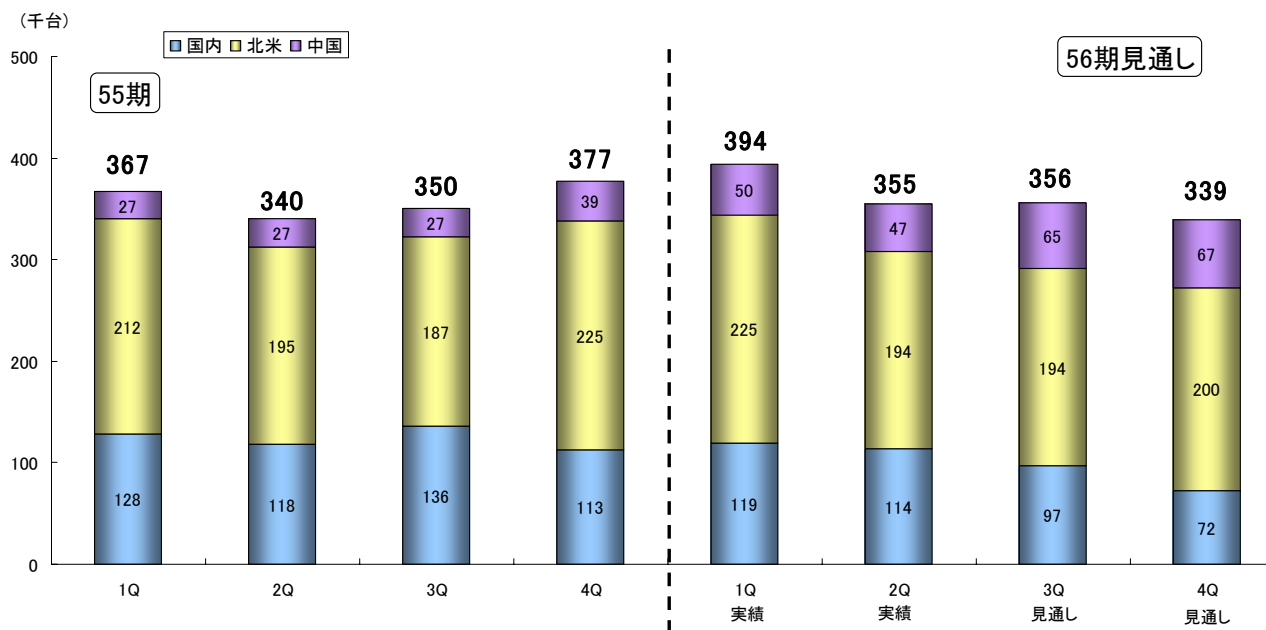
	2008年3月期 (実績)	2009年3月期 (見通し)	前年度比 (増減率)	主な増減内容
生産台数合計	2,672千台	3,019千台	+347千台 (+13.0%)	
国内	1,263千台	1,320千台	+57千台 (+4.3%)	US アコード、シビック増
北米	824千台	818千台	-6千台 (-0.8%)	シビック増、USオデッセイ減
タイ	285千台	392千台	+107千台 (+37.8%)	シビック、CR-V増
中国	300千台	489千台	+189千台 (+62.9%)	アコード、CR-V増
売上高	404億円	402億円	-2億円 (-0.8%)	(為替影響 -28億円) 実質増は +26億円



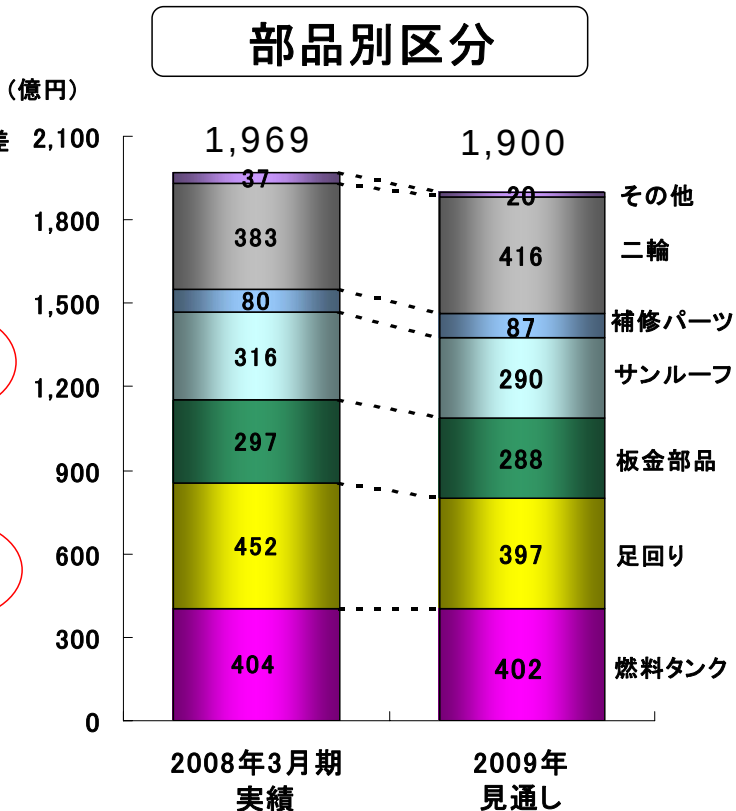
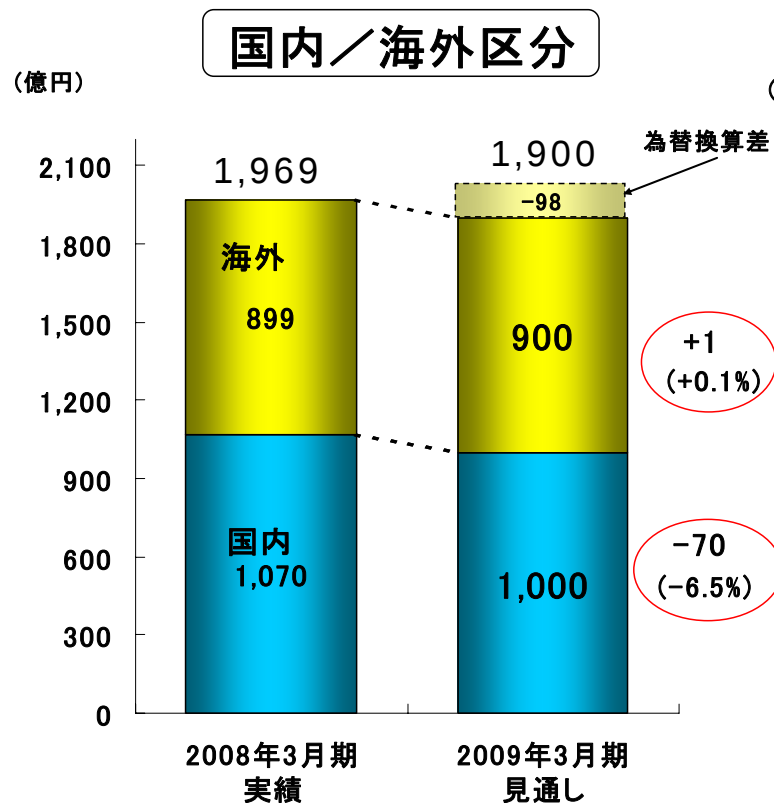
部品事業(サンルーフ)売上台数&売上高 見通し



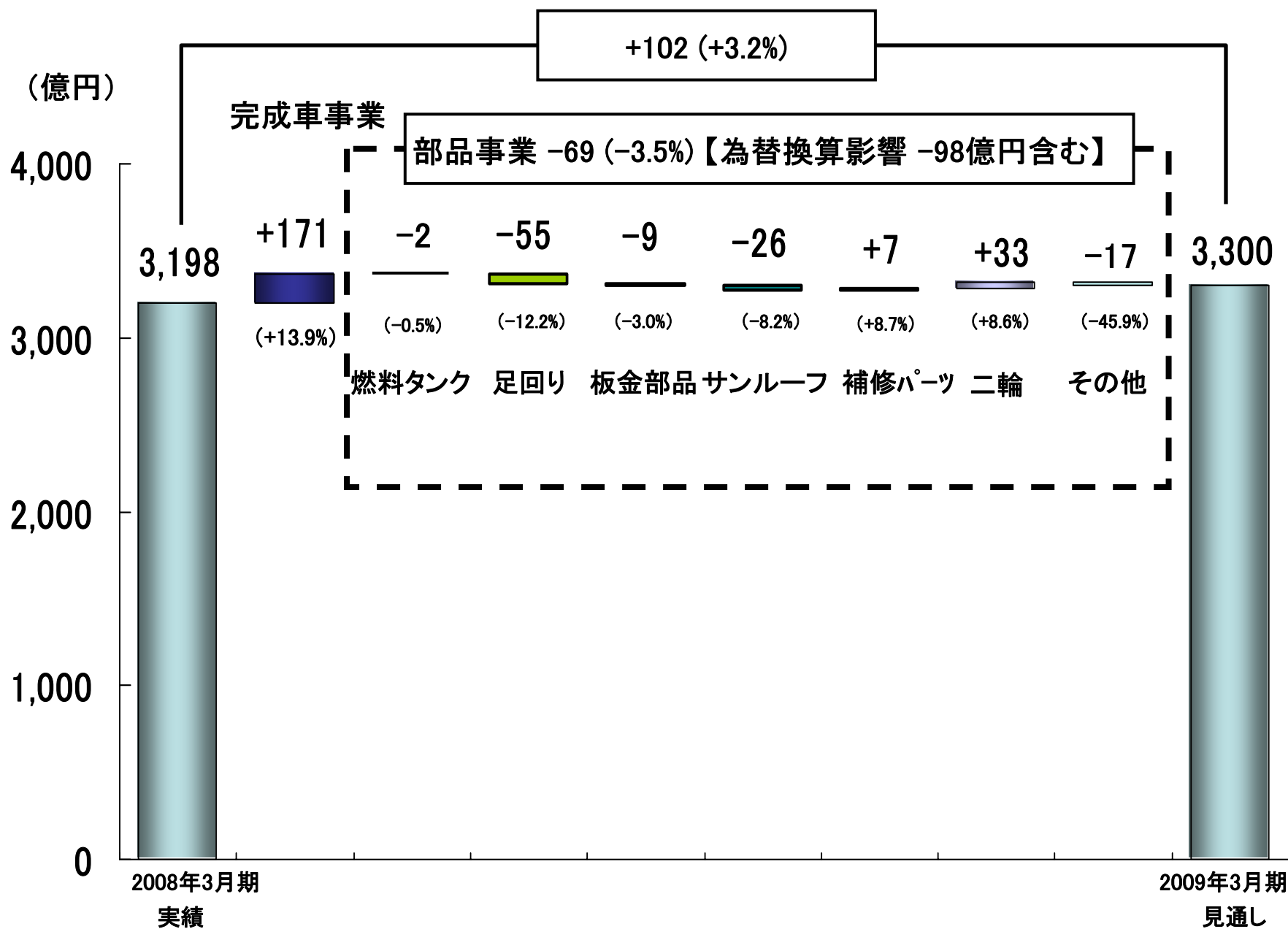
	2008年3月期 (実績)	2009年3月期 (見通し)	前年度比 (増減率)	主な増減内容
生産台数合計	1,434千台	1,444千台	+10千台 (+0.6%)	
国内	495千台	402千台	- 93千台 (-18.9%)	CR-V・レジェンド・アコード減
北米	819千台	813千台	-6千台 (-0.6%)	シビック、アコード減
中国	120千台	229千台	+109千台 (+89.7%)	アコード増
売上高	316億円	290億円	-26億円 (-8.0%)	(為替影響 -26億円) 実質増減 ±0



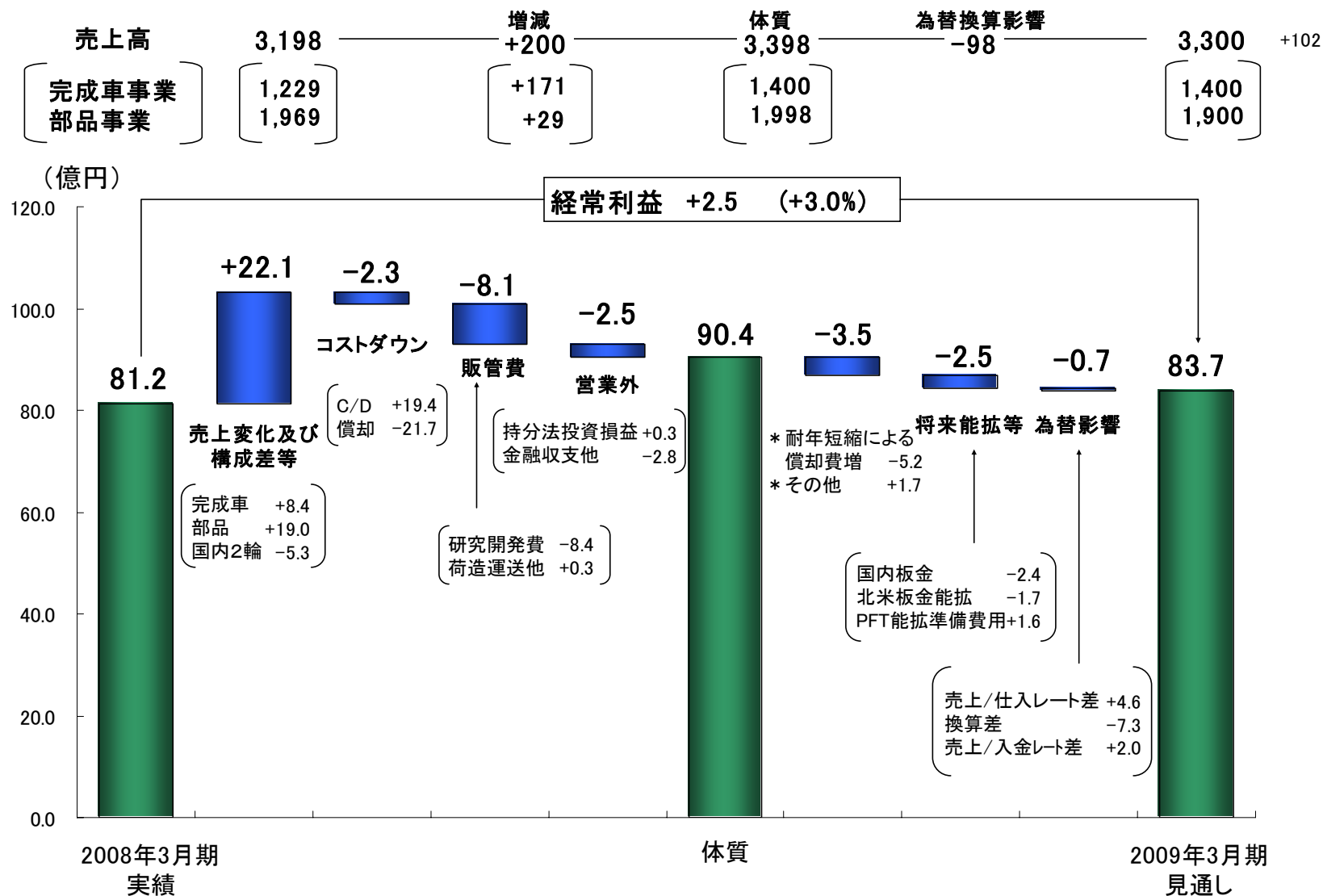
売上高	2008年3月期 (実績)	2009年3月期 (見通し)	前年度比 (増減率)
売上高	1,969億円	1,900億円	-69億円 (-3.5%)



連結売上高【製品別】見通し 増減要因(前年度比)



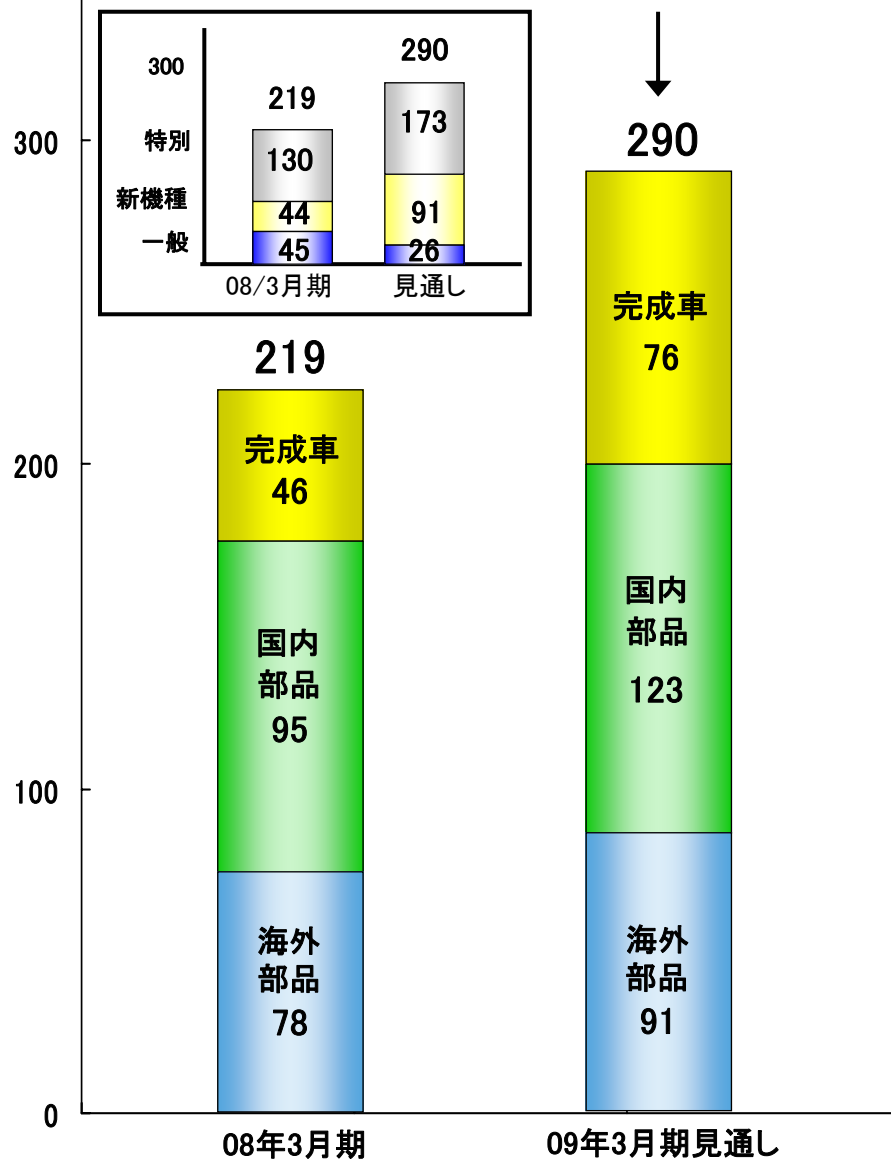
連結経常利益見通し 増減要因(前年度比)



連結設備投資見通し

(単位: 億円)

※期初見通し300



【 09年3月期(見通し)の主な内容 】

	一般	特別
ー 用地取得 ー		(18)
・ 完成車新工場用地		18
ー 完成車新工場関連 ー		(36)
・ 用地造成等		20
・ 新工場建設 (ENG・塗装・動力)		16
ー 新会社 [YG テック] ー	(12)	(33)
・ 工場建設等 (移管・投資設備含む)		33
・ 新機種関係	12	
ー 新拠点 ー		(18)
・ 北米R&D (YOA)		10
・ インド新拠点 (4R、2R)		8
ー 体改・能拡 ー		(68)
・ 完成車事業 (PRG導入等)		6
・ 部品事業 (2R塗装工場、PFT導入、サーリング能拡)		26
・ 海外現法 (アラバマPFT・プレス導入等)		36
ー 新機種 ー [金型・治具含む]	(79)	
・ 国内 (完成車/部品)	57	
・ 海外現法	22	
ー 合理化・更新等 ー	(26)	
・ 国内 (完成車/部品)	11	
・ 海外現法	15	

[合計] 290 億円

117

2. 第10次中期計画及び 四日市製作所新工場建設 の進捗状況について

- ～1. 第10次中期の方向性
- ～2. 第10次中期方針及び取り組み状況
- ～3. 主要事業の取り組み
- ～4. 主要製品売上台数
- ～5. 売上計画(目標)
- ～6. 経営指標
- ～7. 四日市製作所 新工場建設の進捗状況

代表取締役社長 白石 基厚

2. 第10次中期計画及び 四日市製作所新工場建設 の進捗状況について

- ～1. 第10次中期の方向性
 - ～2. 第10次中期方針及び取り組み状況
 - ～3. 主要事業の取組み
 - ～4. 主要製品売上台数
 - ～5. 売上計画(目標)
 - ～6. 経営指標
 - ～7. 四日市製作所 新工場建設の進捗状況
-

第10、11次中期の方向性

ヤチヨのVision

お客様から期待され、期待に応える自立した企業をめざす

環境対応

価格競争力

軽量化、VOC・CO2削減
コスト競争力

飛躍的競争力向上

中長期重点目標

- ① 製品の軽量化
(VOC、CO2削減)
- ② 圧倒的コスト競争力づくり
- ③ QCDベスト工場

- ・機能部品トップランナー
- ・高効率、高品質の完成車工場(QCDベスト工場)

グローバルオペレーションの強化

・仕込みの中期
・選択と集中

飛躍の期

第9次中期

第10次中期

第11次中期

2. 第10次中期計画及び 四日市製作所新工場建設 の進捗状況について

- ～1. 第10次中期の方向性
 - ～2. 第10次中期方針及び取り組み状況
 - ～3. 主要事業の取組み
 - ～4. 主要製品売上台数
 - ～5. 売上計画(目標)
 - ～6. 経営指標
 - ～7. 四日市製作所 新工場建設の進捗状況
-

目 的

『機能部品トップランナー』
『高効率、高品質の完成車工場
（QCDベスト工場）』
に向けた仕込みを完了する。

目 標

1. 製品重量軽量化 仕込み完了
2. コストダウン 仕込み完了
3. 後処理 の大幅削減

主要施策 1

◇ もの造り体質の 再構築

1. 工程内品質保証の確立
2. ラインの高機能汎用化
3. 現場力の強化

主要施策 2

◇ 研究開発力の強化

1. 機能部品のトップランナー
への仕込み完了
2. ツーリングの競争力強化

主要施策 3

◇ グローバル オペレーションの進化

1. マザー機能の明確化と強化
2. 地域統括機能の構築と
地域自立化
3. グローバル調達の強化

目 的

『機能部品トップランナー』
『高効率、高品質の完成車工場
（QCDベスト工場）』
に向けた仕込みを完了する。

目 標

1. 製品重量軽量化 仕込み完了
2. コストダウン 仕込み完了
3. 後処理 の大幅削減

主要施策 1

◇ もの造り体質の 再構築

1. 工程内品質保証の確立
2. ラインの高機能汎用化
3. 現場力の強化

主要施策 2

◇ 研究開発力の強化

1. 機能部品のトップランナー
への仕込み完了
2. ツーリングの競争力強化

主要施策 3

◇ グローバル オペレーションの進化

1. マザー機能の明確化と強化
2. 地域統括機能の構築と
地域自立化
3. グローバル調達の強化

主要施策1 もの造り体質の再構築 展開例

PFT生産ラインの 高機能汎用化

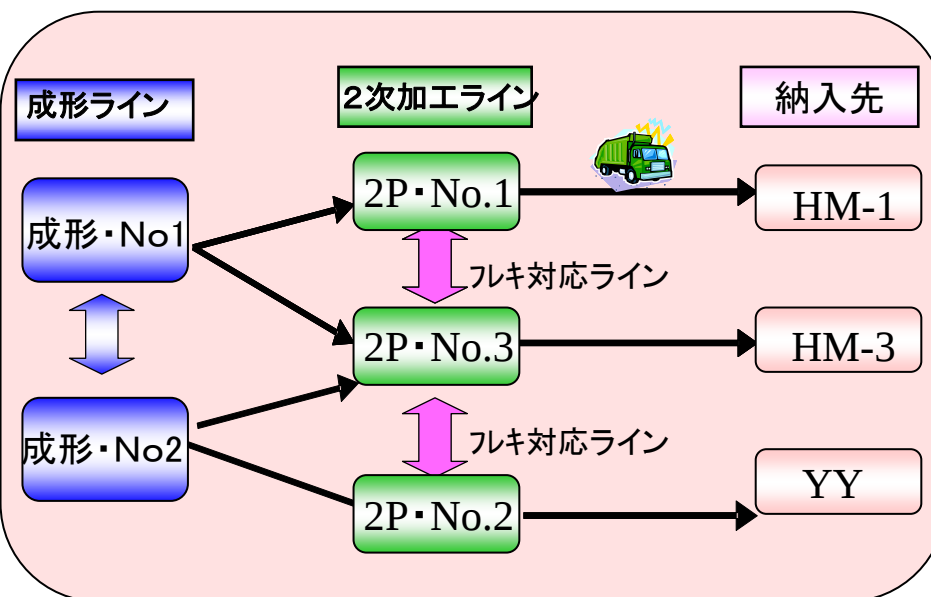
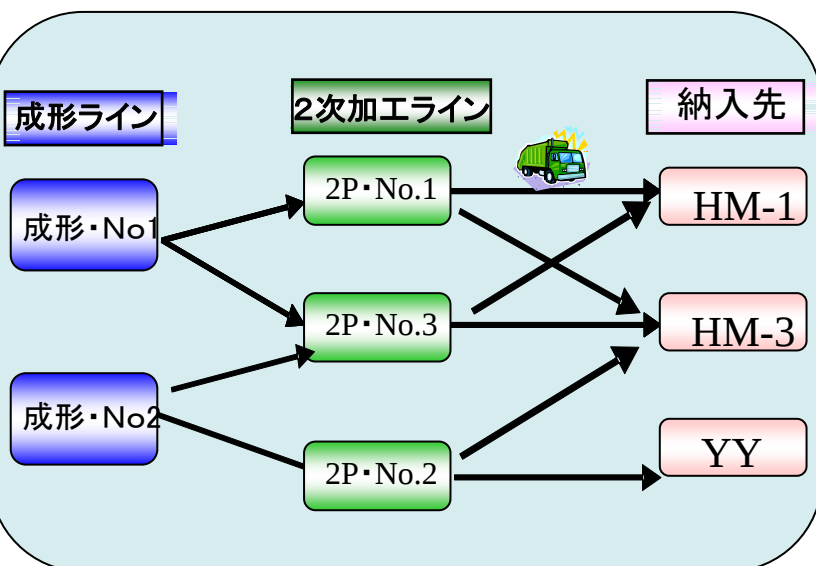


成形2ライン
2次加工3ライン
納入先3カ所

フレキシブル対応を実施

改善前

高機能汎用化



目 的

『機能部品トップランナー』
『高効率、高品質の完成車工場
（QCDベスト工場）』
に向けた仕込みを完了する。

目 標

1. 製品重量軽量化 仕込み完了
2. コストダウン 仕込み完了
3. 後処理 の大幅削減

主要施策 1

◇ もの造り体質の 再構築

1. 工程内品質保証の確立
2. ラインの高機能汎用化
3. 現場力の強化

主要施策 2

◇ 研究開発力の強化

1. 機能部品のトップランナー
への仕込み完了
2. ツーリングの競争力強化

主要施策 3

◇ グローバル オペレーションの進化

1. マザー機能の明確化と強化
2. 地域統括機能の構築と
地域自立化
3. グローバル調達の強化

目 的

『機能部品トップランナー』
『高効率、高品質の完成車工場
（QCDベスト工場）』
に向けた仕込みを完了する。

目 標

1. 製品重量軽量化 仕込み完了
2. コストダウン 仕込み完了
3. 後処理 の大幅削減

主要施策 1

◇ もの造り体質の 再構築

1. 工程内品質保証の確立
2. ラインの高機能汎用化
3. 現場力の強化

主要施策 2

◇ 研究開発力の強化

1. 機能部品のトップランナー
への仕込み完了
2. ツーリングの競争力強化

主要施策 3

◇ グローバル オペレーションの進化

1. マザー機能の明確化と強化
2. 地域統括機能の構築と
地域自立化
3. グローバル調達の強化

北米開発拠点の新設

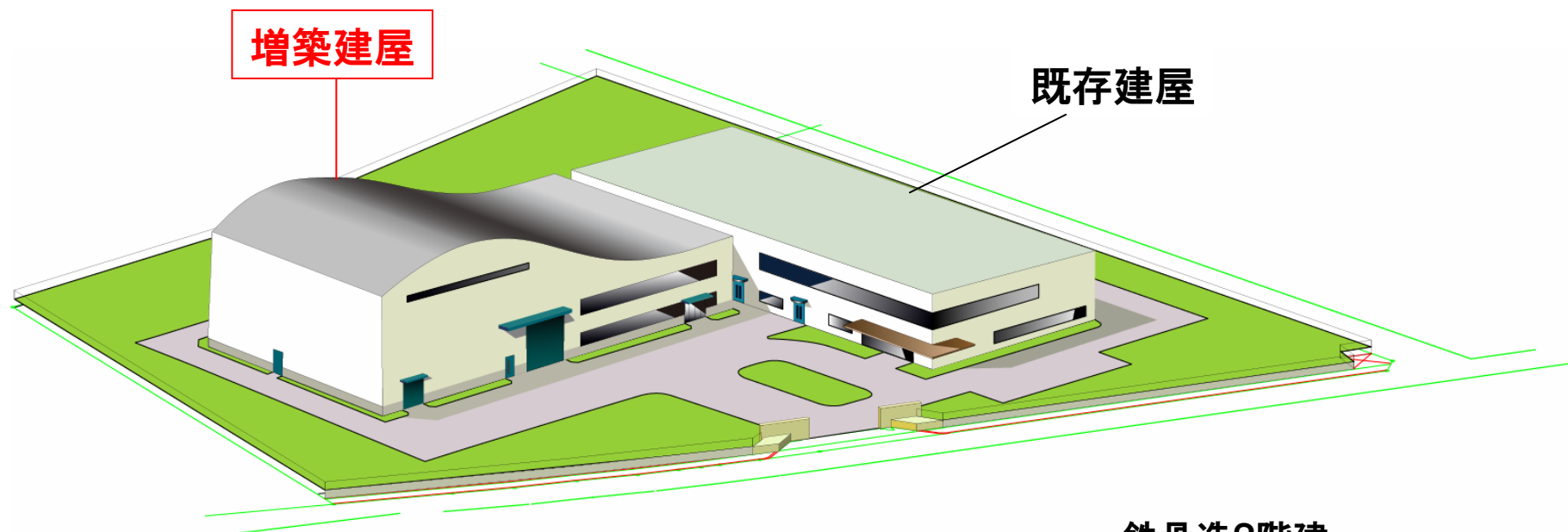
2008年7月米国オハイオ州で北米研究開発センターが稼働開始。
北米で生産されるサンルーフ、燃料タンクなどの設計、機能試験を行う。今後は順次、テスト装置を充実させ、お客様の期待に応えられる製品づくりを目指す。



栃木研究所 増築

2009年2月着工、2009年9月稼働開始予定

内部に樹脂製燃料タンクの成型機を設け、設計、試作、機能保証までの一貫した研究体制を整えるとともに20%の増員で研究開発力の強化を図る。



鉄骨造2階建

延べ床面積: 2,259.28 m²

・1階面積: 1,542.98 m²

・2階面積: 716.30 m²

金型工場 新築

1200tPGRプレスM/C 及び最新鋭マシニングM/C 2台を導入し生産技術の競争力強化と、コスト競争力を飛躍的に高める展開しています。



2008年10月稼働開始
鉄骨造平屋建、
延べ床面積:2,740m²



目 的

『機能部品トップランナー』
『高効率、高品質の完成車工場
（QCDベスト工場）』
に向けた仕込みを完了する。

目 標

1. 製品重量軽量化 仕込み完了
2. コストダウン 仕込み完了
3. 後処理 の大幅削減

主要施策 1

◇ もの造り体質の 再構築

1. 工程内品質保証の確立
2. ラインの高機能汎用化
3. 現場力の強化

主要施策 2

◇ 研究開発力の強化

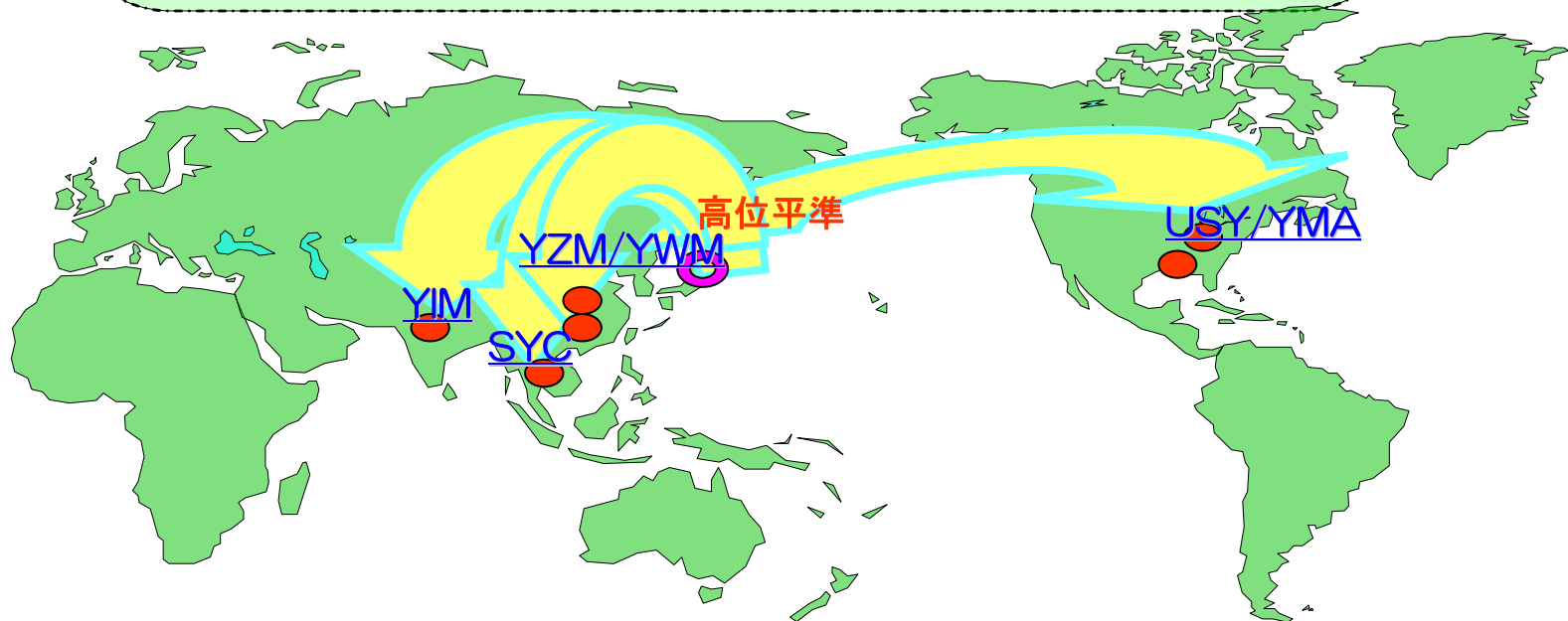
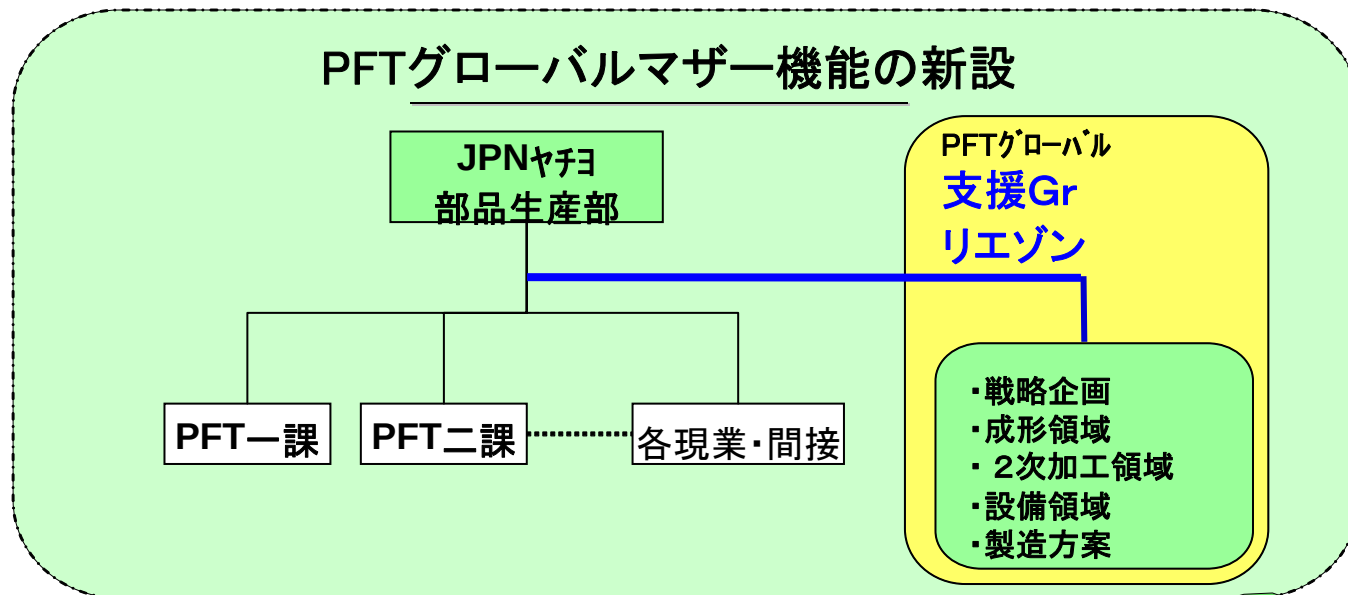
1. 機能部品のトップランナー
への仕込み完了
2. ツーリングの競争力強化

主要施策 3

◇ グローバル オペレーションの進化

1. マザー機能の明確化と強化
2. 地域統括機能の構築と
地域自立化
3. グローバル調達の強化

マザー機能の明確化と強化



目 的

『機能部品トップランナー』
『高効率、高品質の完成車工場
（QCDベスト工場）』
に向けた仕込みを完了する。

目 標

1. 製品重量軽量化 仕込み完了
2. コストダウン 仕込み完了
3. 後処理 の大幅削減

主要施策 1

◇ もの造り体質の 再構築

1. 工程内品質保証の確立
2. ラインの高機能汎用化
3. 現場力の強化

主要施策 2

◇ 研究開発力の強化

1. 機能部品のトップランナー
への仕込み完了
2. ツーリングの競争力強化

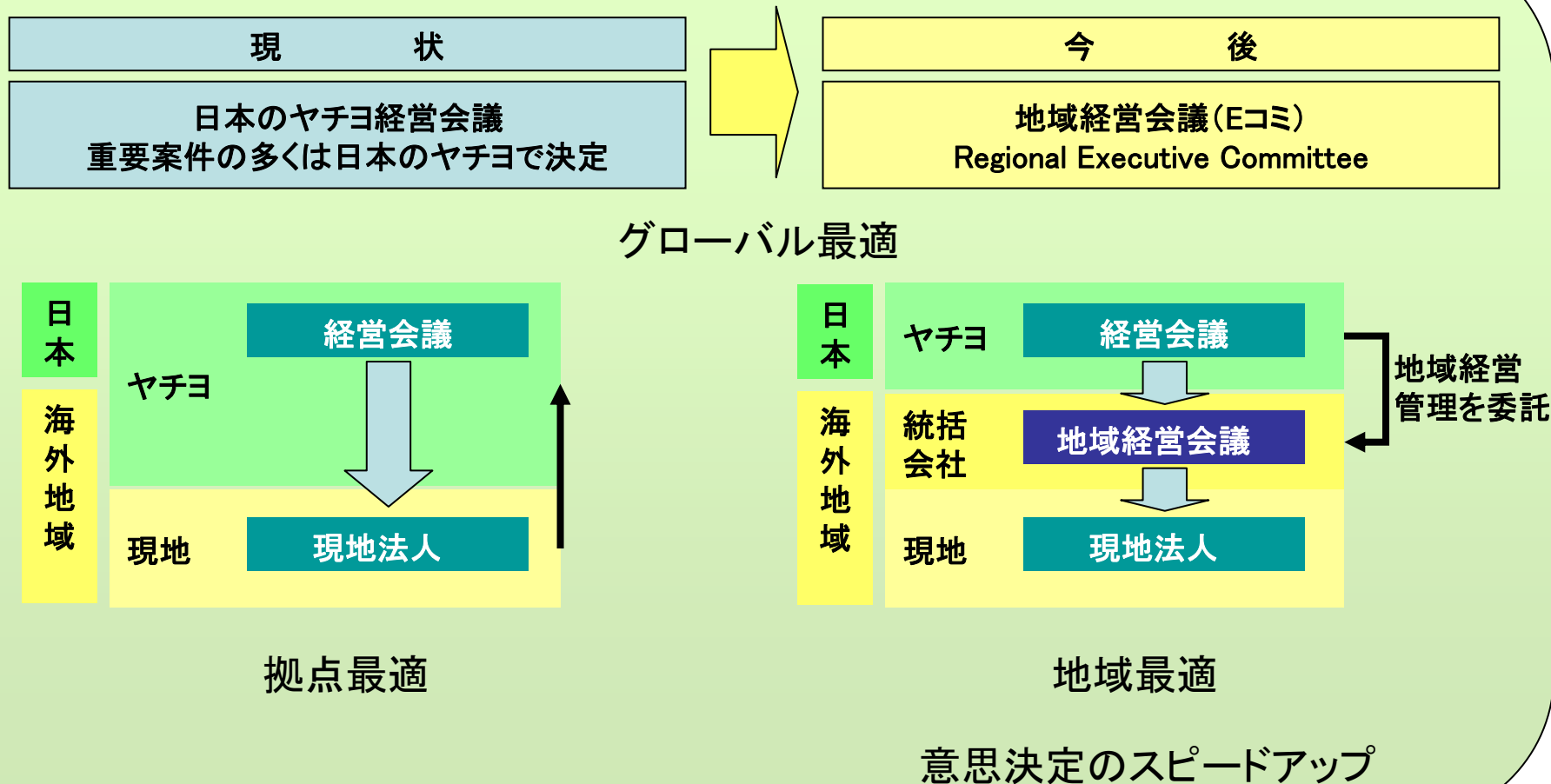
主要施策 3

◇ グローバル オペレーションの進化

1. マザー機能の明確化と強化
2. 地域統括機能の構築と
地域自立化
3. グローバル調達の強化

地域統括機能の構築と地域自立化

10中 グローバル運営体制



目 的

『機能部品トップランナー』
『高効率、高品質の完成車工場
（QCDベスト工場）』
に向けた仕込みを完了する。

目 標

1. 製品重量軽量化 仕込み完了
2. コストダウン 仕込み完了
3. 後処理 の大幅削減

主要施策 1

◇ もの造り体質の 再構築

1. 工程内品質保証の確立
2. ラインの高機能汎用化
3. 現場力の強化

主要施策 2

◇ 研究開発力の強化

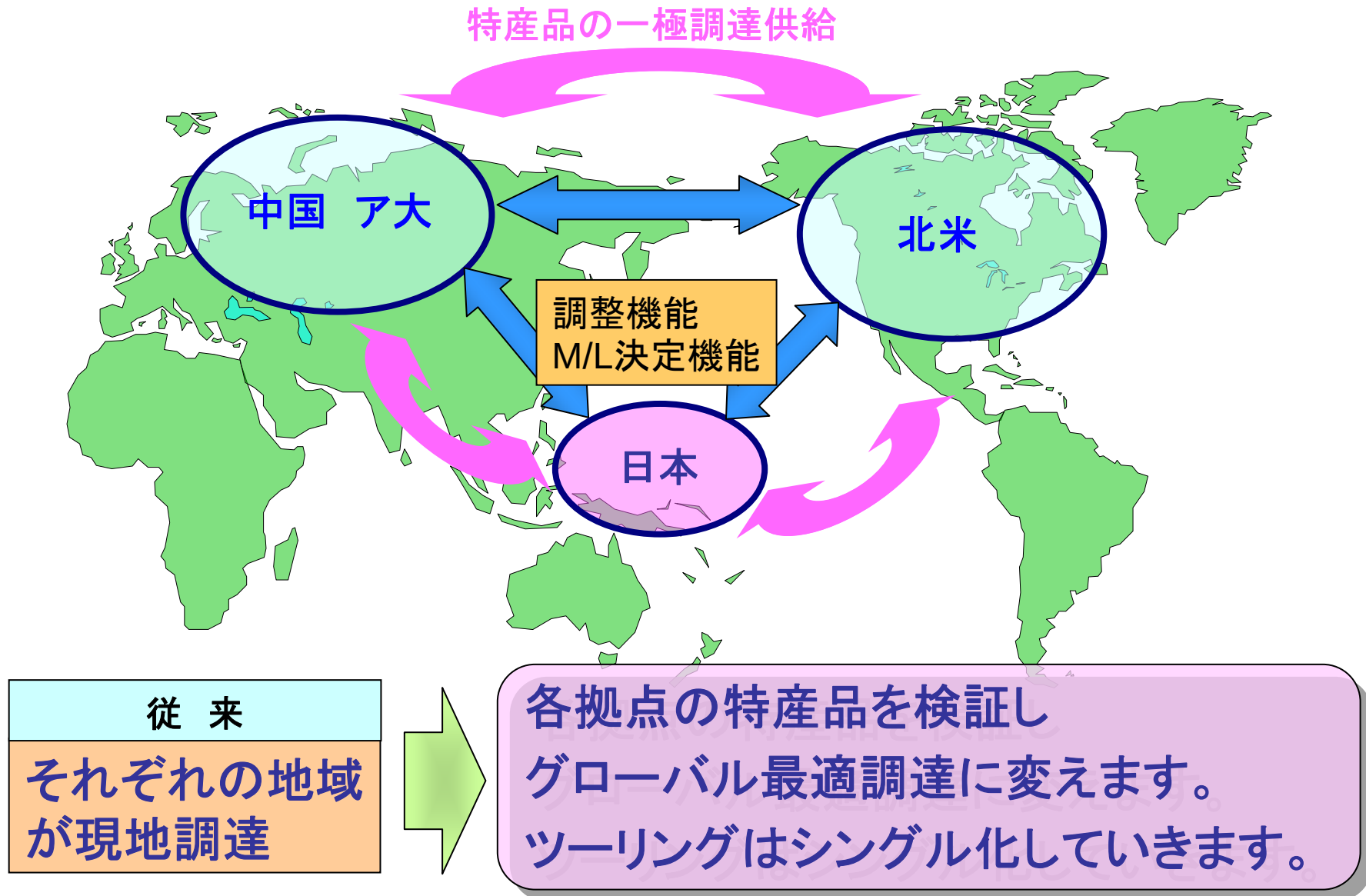
1. 機能部品のトップランナー
への仕込み完了
2. ツーリングの競争力強化

主要施策 3

◇ グローバル オペレーションの進化

1. マザー機能の明確化と強化
2. 地域統括機能の構築と
地域自立化
3. グローバル調達の強化

グローバル調達強化



2. 第10次中期計画及び 四日市製作所新工場建設 の進捗状況について

- ～1. 第10次中期の方向性
 - ～2. 第10次中期方針及び取り組み状況
 - ～3. 主要事業の取り組み
 - ～4. 主要製品売上台数
 - ～5. 売上計画(目標)
 - ～6. 経営指標
 - ～7. 四日市製作所 新工場建設の進捗状況
-

開発・技術力UP

高付加価値・低価格製品の提供による競争力の向上

11M については
軽量化、コスト競争力
の仕込みが完了

QCDD総合力で業界No. 1

- ★大幅軽量化
- ★コスト競争力強化
- ★フレキシビリティ向上

軽量化と価格競争力で
機能部品TOPランナー

モジュールサプライヤーへの進化

- ★燃料供給システムトータル開発による環境対応最適システムの提案
- ★機能専門技術領域に於ける研究開発強化とエキスパート育成

QCD体質強化⇒高効率・高汎用性・低専用投資

ものづくり体質強化

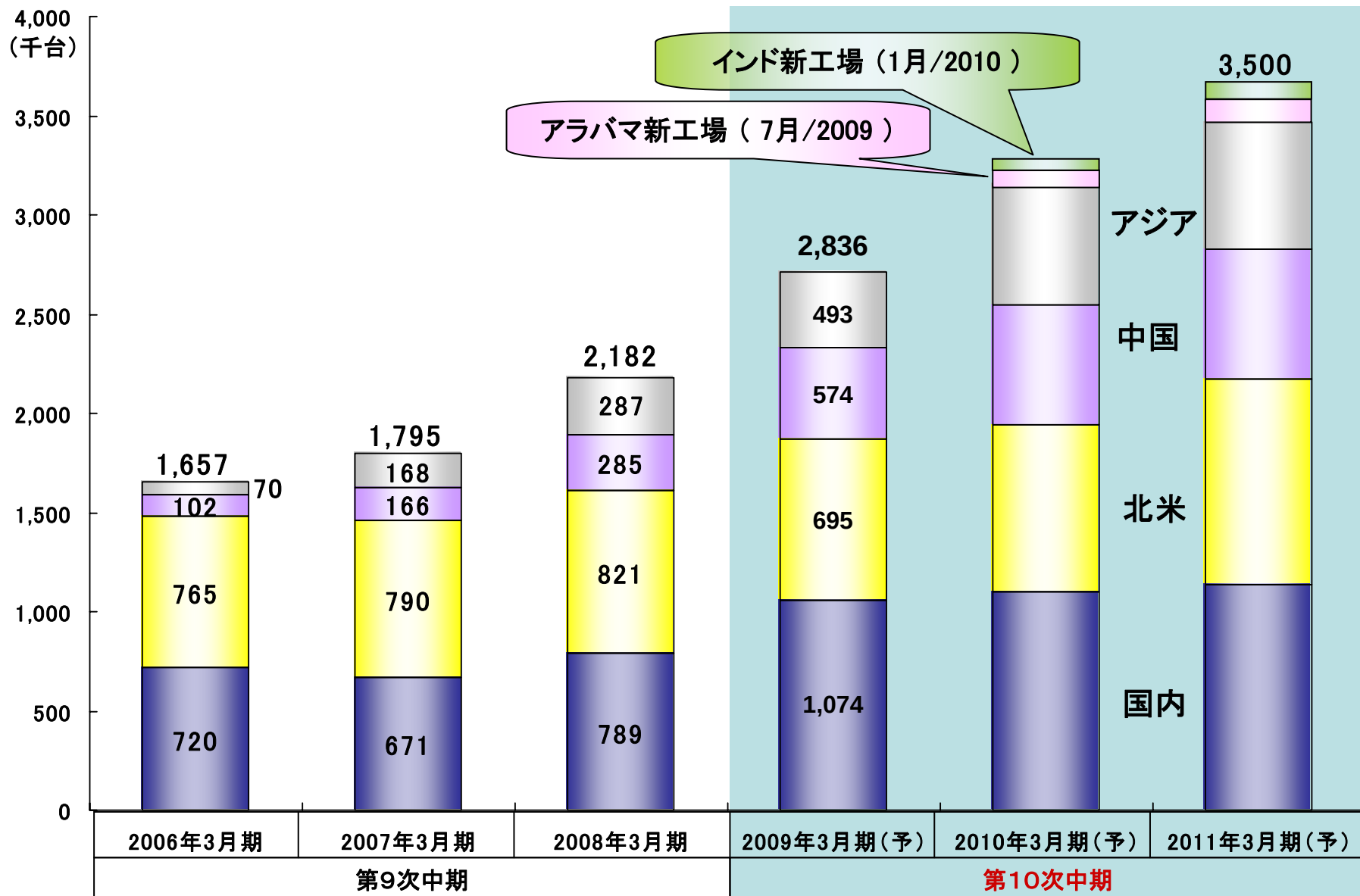
第10次中期

第11次中期

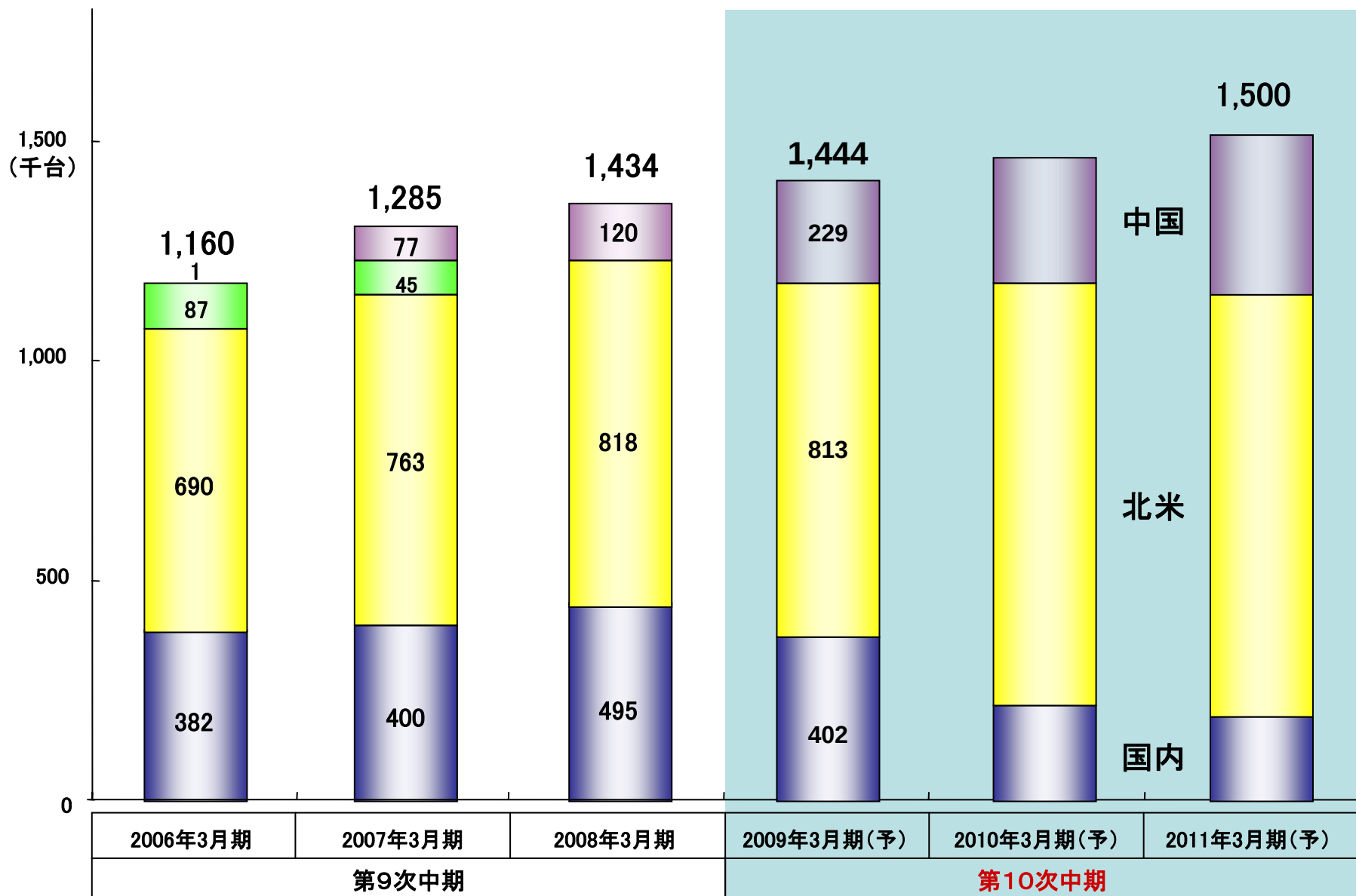
2. 第10次中期計画及び 四日市製作所新工場建設 の進捗状況について

- ～1. 第10次中期の方向性
 - ～2. 第10次中期方針及び取り組み状況
 - ～3. 主要事業の取組み
 - ～4. 主要製品売上台数
 - ～5. 売上計画(目標)
 - ～6. 経営指標
 - ～7. 四日市製作所 新工場建設の進捗状況
-

主要製品売上台数(樹脂製燃料タンク)



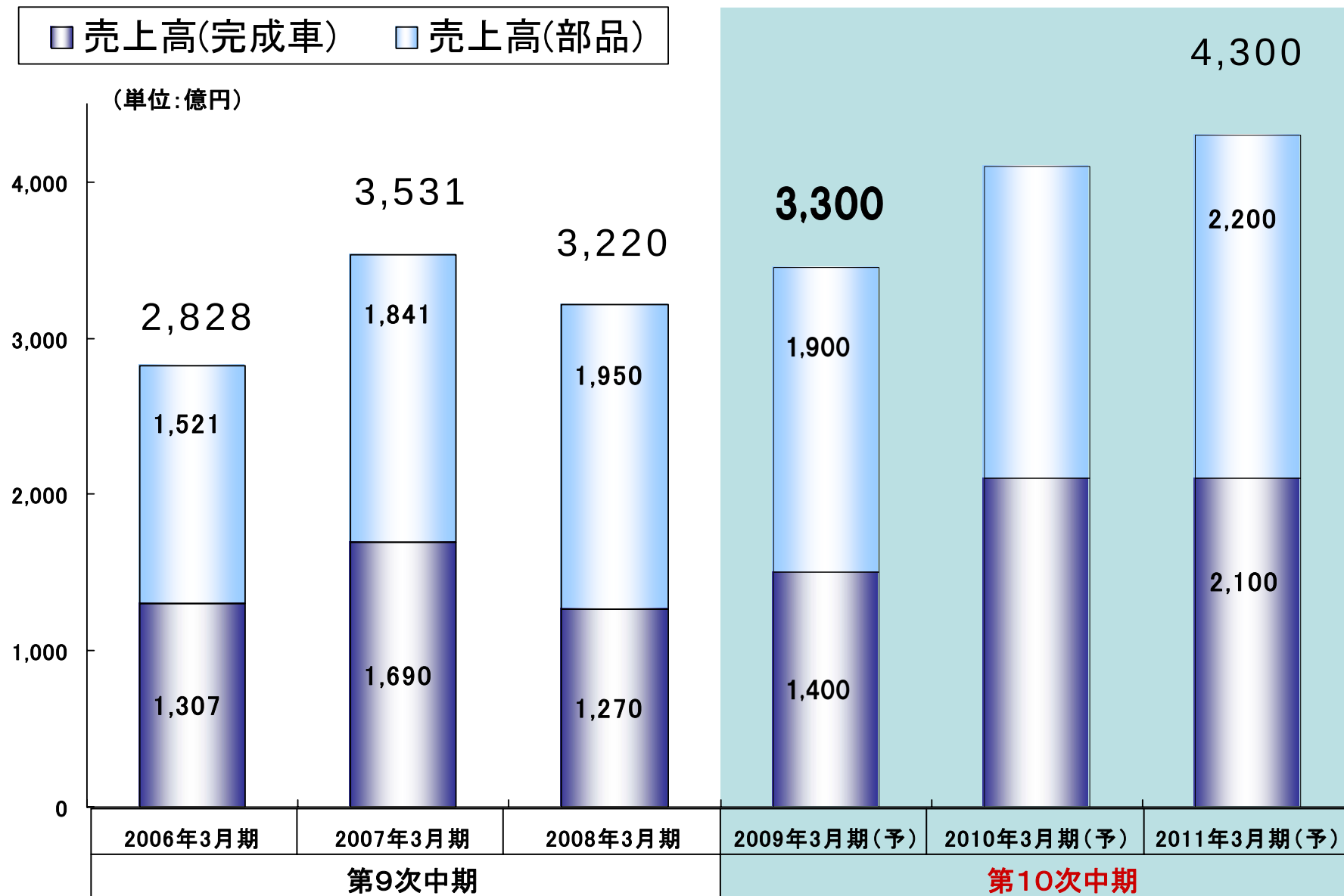
主要製品売上台数(サンプーフ)



2. 第10次中期計画及び 四日市製作所新工場建設 の進捗状況について

- ～1. 第10次中期の方向性
 - ～2. 第10次中期方針及び取り組み状況
 - ～3. 主要事業の取組み
 - ～4. 主要製品売上台数
 - ～5. 売上計画(目標)
 - ～6. 経営指標
 - ～7. 四日市製作所 新工場建設の進捗状況
-

売上計画(目標)



2. 第10次中期計画及び 四日市製作所新工場建設 の進捗状況について

- ～1. 第10次中期の方向性
 - ～2. 第10次中期方針及び取り組み状況
 - ～3. 主要事業の取組み
 - ～4. 主要製品売上台数
 - ～5. 売上計画(目標)
 - ～6. 経営指標
 - ～7. 四日市製作所 新工場建設の進捗状況
-

体質指標Ⅰ

(単位:億円)	第9次中期末実績	第10次中期末
連結売上高	3,220	4,300
連結経常利益率	2.5 %	3.0 %以上
株主資本利益率(ROE)	9.6 %	10 %以上
連結配当性向	17.2 %	15 %
有利子負債依存度	22.7 %	35 %

体質指標Ⅱ

(単位:億円)	第9次中期見実績	第10次中期
連結設備投資額 中期累計	410	800
連結減価償却費 中期累計 (期末)	255 (95)	※ 420 (180)
連結研究開発費 中期累計 (期末)	45 (17)	90 (35)

※前回は400
(190)

2. 第10次中期計画及び 四日市製作所新工場建設 の進捗状況について

- ～1. 第10次中期の方向性
 - ～2. 第10次中期方針及び取り組み状況
 - ～3. 主要事業の取組み
 - ～4. 主要製品売上台数
 - ～5. 売上計画(目標)
 - ～6. 経営指標
 - ～7. 四日市製作所 新工場建設の進捗状況
-

新完成車工場・エンジン工場レイアウト

YACHIYO

エンジン工場

操業開始

組立:2009年前半

塑形、加工:2010年後半

新完成車(FF)工場

操業開始 2010年後半

既存工場



完成車工場
(既存:ミッドシップ専用化)

厚生棟
(既存)

塑形 加工 組立

塗装

プレス工場
(既存)

組立

完成車検査

溶接

モータープール

調整池

調整池

所在地	三重県四日市市上海老町(既存工場に隣接)
敷地面積	約 34万㎡ (新規分約19万㎡)
延床面積	約 18万3千㎡ (新規分約10万2千㎡)
機能概要	完成車生産(プレス・溶接・化成・組立・エンジン)
生産能力	年間24万台(新工場分)
総投資額	約 500億
操業開始	2010年後半予定(エンジン組立は2009年前半予定)
総要員数	約 1500人(新規分 +約250人)

H20.10.10撮影

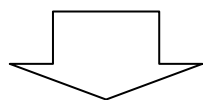
ENG組立工場建設工事 －基礎工事状況



基礎工事状況

業界NO1工場
(Q, C, D)

・物造り体質の再構築



物流要員30%削減

後始末作業40%削減

ロス作業30%削減

流動ストック10%削減

塗装: 3C2B/水性化

要員効率
20%向上

有効ボディ数
30%削減

VOC
50%削減

CO2
20%削減

FF/MID分離

ライフ/セスト

FF新工場

アクティ(バン、トラック)

MID工場

NET/LOSS の徹底追求

自工程完結、IN ライン保証

FFショートプロセス最適ライン

MID最適ライン

現有設備活用

生産システム進化

ランダム生産 → ロット生産化

内外作含めた
工程系列の最適化

エンジン工場

組立・塑加工(ブロック、ヘッド)
一貫生産/内製化

完成車工場

重要骨格部品 内製化

新しい溶接部品ラインシステム

軽一台分板金推進(新板金工場)

小組 内製化

地球環境対応

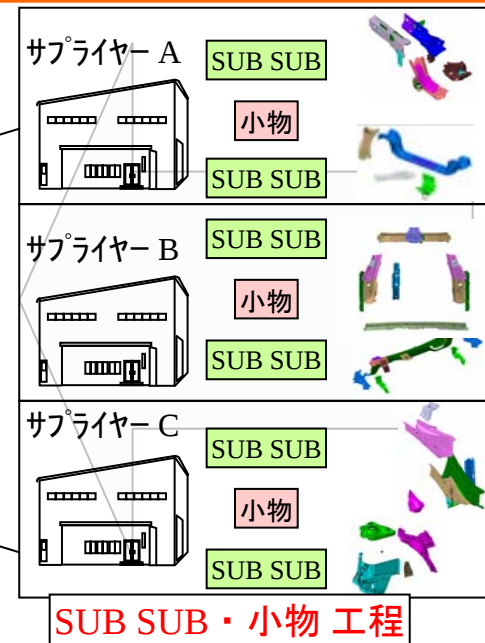
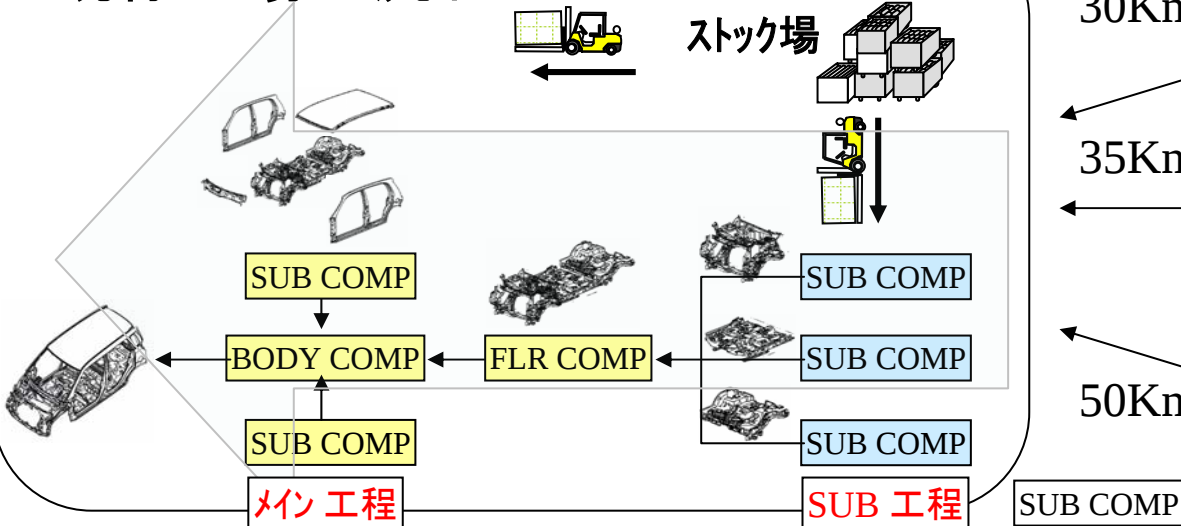
CO2、VOC低減

高次元排水処理システム導入

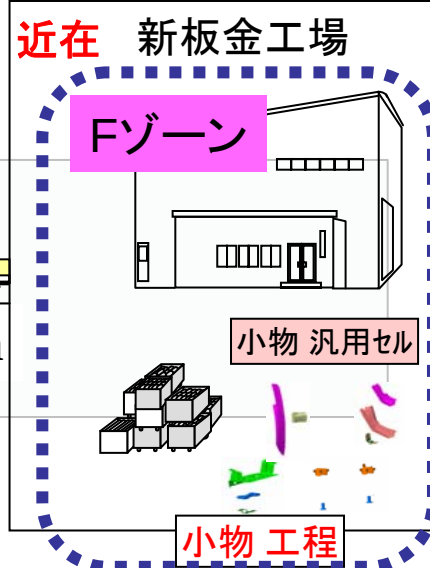
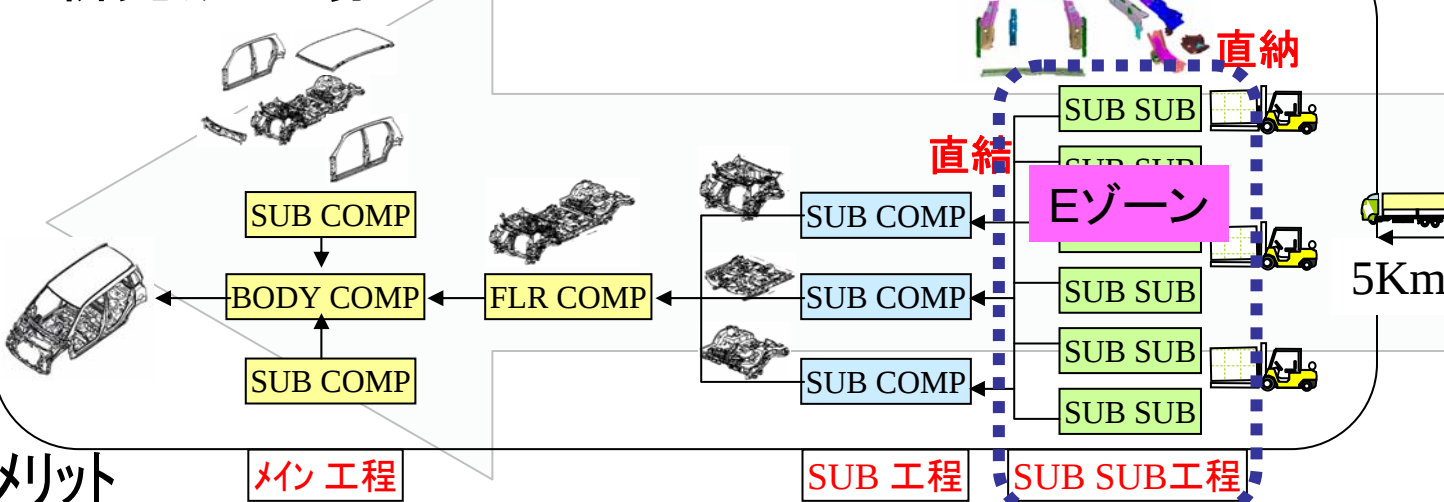
ソーラー 導入

Body溶接領域 物造り変化

既存工場の流れ



新完成工場



- ①品質軸の一本化 ②人効率の向上 ③物流費削減, ④ 物流効率向上によるCO2削減



第2名神
東員IC予定地

新板金工場 (株)ワイジーテック
東員町
敷地 約60,000m²

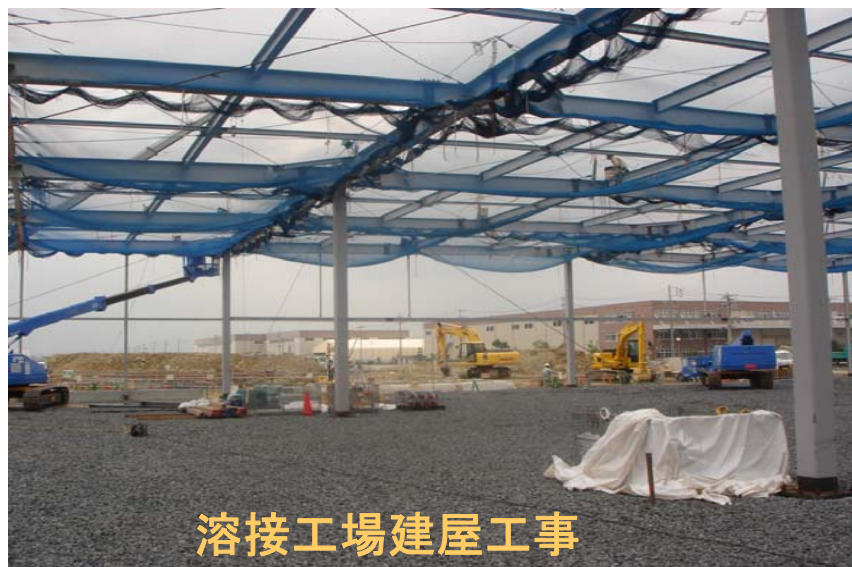
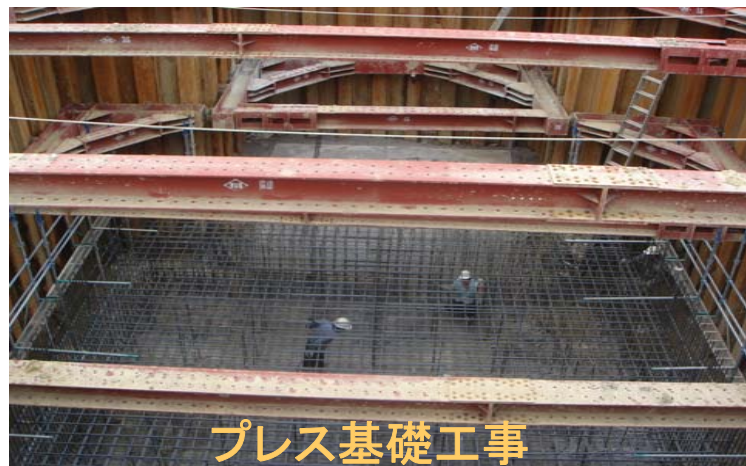
既存 四日市製作所より
約 5.0Km 所要時間 10分

四日市製作所

ワイジーテック工場建設工事－全景

2009年1月 溶接稼働開始
2009年4月 プレス稼働開始

H20.10.20撮影



本資料のうち、業績見通し等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいて算定しており、判断や仮定に内在する不確定性及び今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が見通しの数値と大きく異なる可能性があります。尚、上記の不確定性及び変動可能性を有する要素としては、主に以下のようになります。

- ・主要市場における経済情勢及び需要の変動
- ・為替相場の変動
- ・主要市場における貿易規制等の各種規制
- ・主要市場における政治情勢
- ・当社が事業活動を行う上生じる当社の責めに帰すことのできない様々な障害